

NPO法人フォトカルチャー倶楽部 [コミュニティ情報誌]

フォトライフ

四季

Vol.88
SPRING

春

会員70,324名の皆さんの力で社会貢献、
(2014年1月31日現在)

フォトカルチャー倶楽部。

春の美しさを感じたままに
桜、出会い、
撮りどき。

愛知、大阪で

写真の楽しさを伝える
フォトインストラクター
認定講座の
受講者募集

旅行会社クラブツーリズムとコラボ
フォトナビゲーター募集

遠くのあの人とつながる

Facebook PCC 全国交流グループで
全国の写真好きと交流

撮影に出かけるときの必需品「ロープロ」

DSLR ビデオ ファストパック 250AW
を会員限定プレゼント



みんなで新しい写真体験を!

フォトカルチャー倶楽部 (PCC) は会員の皆さまのご支援で、さまざまな社会貢献・文化貢献・環境保護貢献をしています
美しい地球を写そう。美しい地球を守ろう。写真で人の絆を深めて、すべての生き物と共生しよう

会員の皆さんの写真で表紙を飾りませんか?
作品投稿お待ちしております。P 1、P 6~7
に掲載する作品も同時募集。(詳しくは→P48)

フォトカルチャー倶楽部の最新情報は
こちらで確認できます。

フォトライフ四季ホームページ
→ <http://www.npopcc.jp/aaa/shiki/>
フォトカルチャー倶楽部
Facebook ファンページ
→ <http://www.facebook.com/npopcc>
メルマガも配信中!

上の写真:「チューリップといっしょに」
松浦友子さん (兵庫県)

自宅の庭で飼っているネコがチューリップのそばにたずむ瞬間をねらいました。普段は活発に動き回る子なので、シャッターチャンスをじっくり待って撮影しました。屋外の逆光だったので、ネコの顔に露出を合わせて固定し、同じ設定で何枚も粘り強く撮影しました。

オリンパスPEN Lite E-PL2、ED M40-150mm f4.0-5.6、F4.5、1/250秒、兵庫県宝塚市、2012.4.21
「365日フォトコンテスト2012春夏」より

表紙:「初めまして」
武田洋子さん (愛知県)

背景の桜とあずま屋の壁の明暗差が大きかったので、女の子とイヌに露出を合わせて撮影しています。イヌとの出合いを喜ぶ、女の子の無邪気なしぐさを表現しました。イヌが壁穴から顔を出し、女の子が挨拶しているようなイメージで撮りました。

ソニー α700、タムロンAF28-300mm F3.5-6.3、F16、1/45秒、長野県中川村、2008.4.12
『フォトコンライフNo.53 春の詩が聞こえる風景』より



At the heart of the image



さあ素晴らしきFX体験を。

フォーマット



NEW

小型・軽量
FX
フォーマット
高画質
2426
万画素

デジタル一眼レフカメラ

D610

- 有効画素数2426万画素
- ニコンFXフォーマットCMOSセンサー
- 画像処理エンジン EXPEED 3
- 最高約6コマ/秒*の高速連続撮影
- 静音連続撮影モード(約3コマ/秒*)
- 視野率約100%の光学ファインダー
- 高密度39点AFシステム (f/8対応: 7点)
- SDメモリーカードダブルスロット
- 防塵・防滴、マグネシウム合金採用ボディ

* CIPAガイドライン準拠。

■D610 価格: オープンプライス 付属品: Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL15、バッテリーチャージャー MH-25、USB ケーブル UC-E15、ストラップ AN-DC10、液晶モニターカバー BM-14、ボディキャップ BF-1B、アクセサリシューカバー BS-1、アイビスキャップ DK-5、接眼目当て DK-21、ViewNX 2 CD-ROM ■D610 24-85 VR レンズキット 価格: オープンプライス 内容: D610、AF-S NIKKOR 24-85mm f/3.5-4.5G ED VR ■D610 28-300 VR レンズキット 価格: オープンプライス 内容: D610、AF-S NIKKOR 28-300mm f/3.5-5.6G ED VR ●記録媒体は別売です。 ●オープンプライス商品の価格は、販売店にお問い合わせください。

8500万画素
NIKKOR

Nikon College ニコン カレッジ 受講生募集中

「ニコン カレッジ」はニコンイメージングジャパンが運営する写真教室です。初心者から経験者まで、レベルや目的別に選べる各種講座のほか、第一線で活躍するプロを招く「プロ写真家講座」など、バラエティに富んだプログラムをご用意。札幌・仙台・東京・横浜・名古屋・大阪・広島・福岡をはじめ全国各地で随時開催しています。

*詳細は、ホームページ (www.nikon-image.com/nikoncollege) でご確認ください。

ニコンカスタマーサポートセンター
0570-02-8000

www.nikon-image.com | 株式会社 ニコン・株式会社 ニコン イメージング ジャパン

一般電話、公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。営業時間9:30~18:00(年末年始、夏期休業等を除く毎日) ●ナビダイヤルがご利用いただける場合は、(03) 6702-0577におかけください。 ●ファクシミリのご相談は、(03) 5977-7499へご連絡ください。

POWER OF
PHOTOGRAPH

写真の力

小池キヨミチ「自然とつながる時」

「語りかけてくるもの」

アメリカ ユタ州
キャピトルリーフ国立公園



小池キヨミチ (こいけ・きよみち)

1959年静岡県浜松市生まれ。1983年米国永住。2001年同時多発テロ事件を契機に本格的に写真作家活動を開始。2004年から各種写真展入賞、後に2006年に前田真三賞風景写真社主催の最終選考作品(同年の受賞者なし)に選ばれ高い評価を受ける。その後、プロ写真作家として活動を始める。2013年5月には日本で6度目の個展を開催。著書に写真集「大砂丘の声」など他多数。日本写真家協会会員。



ペンタックスLX、SMC PENTAX-A 20mmf2.8、F18、1/60秒、20mm、ISO100、プロビア 100F、C-PL

「景色の中の主役たち」

雲ひとつない晴天の午後、私はアメリカ西部ユタ州にあるキャピトルリーフ国立公園にいた。そこには山のようにそびえ立つ大地の側面に、素晴らしい堆積岩の地層が顔を出している。我々の命のパンから考えると気の遠くなるような歳月を経てきた大地の年輪のようなもので、それぞれの層が様々なミネラル(鉱物)独自の色合いを放ち、光の変化に同調しながら鮮やかに視界に広がり、訪れる者を引き寄せる。

自然の中に入り込むと無意識に振り向きたくなくなったり、何気なく見上げたくなったりすることがあると思うが、一体何がそうさせているのだろうか。

国立公園に入ったときには雲ひとつない青空が広がっていた。園内を走る道の最終地点にあるトレイル(山道)へとつながる駐車場に向かい、そこから歩いて奥まで行こうと予定していたのだがすでに満杯状態で駐車スペースがなく、仕方なく同じ道に戻ってきた。そのときに雲が躍り出るように現れ、青いキャンパスの

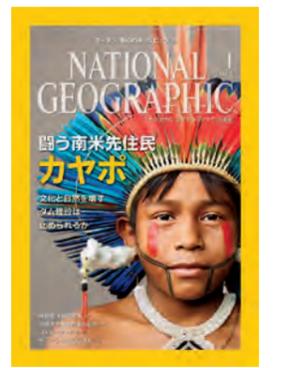
上を舞い始めた。まるで生き物のようにゆっくりと流れ動く雲たちが景観にアクセントを与えてくれた。ひよっとすると私に話しかけているのかとも思えるほどであった。道路脇にちょうど一台停まるスペースを見つけて車を止め、10メートルほど丘の斜面を登った辺りでこの大地の表情に魅せられ、しばらく見つめてしまった。手持ちのカメラには広角レンズ。円形偏光(C-PL)フィルターで雲のコントラストをとらえてシャッターを何回か切った。一度きりの出会いである。前後0.3のブラケティングで計3ショット、そして同様に縦構図でも3ショット撮影させてもらった。

写真撮影では、何をいつ撮らせてもらえるか分からない。撮影者が放つ波動と被写体が放つ波動が呼び合うのか。「不思議な偶然」が必然的に与えられるようにも思えることがある。自然は畏敬の念をもって訪れる者を決して手ぶらでは帰さない。自然とのつながりを深める中で、私は常にこう思い感じている。



【POWER OF PHOTOGRAPH】
 写真の力
 『NATIONAL GEOGRAPHIC』より

ライトアップされた京都・清水寺の夜桜。写真家のダイアン・クックとレン・ジェンシエルのふたりが、4年をかけて世界を回り、月光の下で幻想的な姿を見せる夜の庭園を撮影してきた中の一枚だ。ふたりはナショナル ジオグラフィック2013年3月号の特集「月光がいざなう 夜の庭園散歩」を担当した。



表紙写真は『ナショナル ジオグラフィック日本版』2014年1月号
<http://www.nationalgeographic.jp>

©2014 DIANE COOK AND LEN JENSHEL/National Geographic Creative



POWER OF
PHOTOGRAPH

写真の力

『フォトライフ四季』編集部が選んだ
春を彩る2枚

寒い冬の終わりへと、
暖かい春の訪れを告げる桜。
日本人の心に深く根付いたピンク色の花が、
出会いと別れの季節を彩る。



「春栄の訪問者」

横田康治さん（高知県）

ヤマガラという鳥は、春の子育ての時期に食欲が増す習性を持っています。この写真は、手のひらにエサを乗せて、そこに寄ってきたヤマガラを背景に桜を入れて撮影しました。動きが速いためシャッタースピードを上げています。1羽のヤマガラを正面からとらえ、自然の迫力を表現しました。

キヤノンEOS-1Ds Mark III、EF 8-15mm F4L、F4、1/640秒、高知県仁淀川町、2013.3.30

「365日フォトコンテスト2013春夏」より

日本一のフォトコンテストは
365日チャンスがあります

PCC主催の「365日フォトコンテスト」は、応募総数が約10万点を超える全国最大規模のフォトコンテスト。プロの写真家や専門家が全応募作品を審査しています。コンテストの上位入賞作品は、本誌や『フォトコンライフ』（双葉社）で随時掲載します。詳しくは→P32



「桜吹雪」

山崎昌彦さん（大阪府）

娘たちの入園式と入学式の直後に、万博公園で撮影しました。子どもたちの元気な様子と桜を組み合わせて、楽しい写真に仕上げました。逆光だと顔が暗くなってしまうため、露出補正をプラスに設定。動きの中の一瞬をとらえるために、シャッタースピードも速くしています。

フジフィルムX-E1、XF18-55mm F2.8-4、F10、1/1400秒、大阪府吹田市、2013.4.5

「365日フォトコンテスト2013春夏」より

SONY

カメラを、もっと先へ。
BE MOVED



誰も作らなかつたカメラ。

α7 一眼に、新しい可能性を。 世界最小・最軽量* フルサイズ一眼

*α7R。35mmフルサイズセンサー搭載レンズ交換式デジタルカメラボディにおいて。2013年10月16日広報発表時点 ソニー調べ。外形寸法:約126.9(幅)×94.4(高さ)×48.2(奥行き)mm、質量:約407g(本体のみ)

◎商品を安全に使うため、使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください ◎画素数表記にはCIPAのガイドラインに基づき、有効数字4桁以下を四捨五入しています ◎あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません ◎購入の際は、必ず「保証書」の記載事項を確認のうえ、大切に保管してください ◎SONY、α および α ロゴはソニー株式会社の高標です ◎買い物相談窓口 ☎ 0120-777-886 携帯電話、PHS、一部のIP電話からは、050-3754-9555まで。受付時間 月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00 sony.jp/ichigan/



進化した超望遠ズームで、
かつてない躍動をつかまえる。

SP 150-600mm F/5-6.3 Di VC USD

ダイナミックな表現を、さらにシャープに描き出す。
手ブレ補正機構と超音波モーターを搭載し、新デザインで登場。

Di: デジタル一眼レフカメラ用レンズ
Model: A011 希望小売価格 140,000円(税込 147,000円)丸型フード付
発売中: キヤノン用 順次発売予定: ニコン用 / ソニー用

*ソニー用は、ソニー製デジタル一眼レフカメラがボディ内に
手ブレ補正機能を搭載しているため、手ブレ補正機構「VC」を搭載していません。

タムロンレンズ お客様相談窓口 ナビダイヤル ☎ 0570-03-7070
受付時間 平日9:00～17:00(土日・祝日・弊社指定休業日は除く)
※一般電話・公衆電話から市内電話料金にてご利用いただけます。
ナビダイヤルをご利用できない場合は049-684-6899におかけください。
FAXでのお問い合わせは049-689-0538に連絡ください。

タムロンは、様々な産業分野において精密、高品質な光学製品を創出し、社会に貢献しています。
東京修理受付窓口: 〒110-0005 東京都台東区上野6丁目16番22号 上野Tビル3階 TEL 03-5817-7210
大阪修理受付窓口: 〒542-0081 大阪府中央区南船場2丁目4番1号 美貴ビル6階 TEL 06-6271-4281(代)
株式会社 タムロン www.tamron.co.jp

TAMRON
産業の眼を創造貢献するタムロン

フォトカルチャー倶楽部 (PCC) のいぶし銀

先入観にとらわれず、心のままに撮る

全国7万人の会員、7万通りの写真の撮り方、写真への想いがある。
写真で人生を輝かせている人をピックアップする、「PCCのいぶし銀」。
今回はフォトインストラクター・倉本雅史さんに話をうかがい、
写真を撮り始めたきっかけや、撮影術を語ってもらった。

倉本先生と撮影しながら
学べる講座は→P34

今月のいぶし銀
倉本雅史さん 写真は読み物。そこに写っているものは、観る人の物語を呼び起こすものだと思います



普通は夜に神楽殿など屋内の照明に照らされ舞う神楽が、安野花まつりでは野外の専用ステージで舞われます。青空の桜吹雪の下で自然と一体化した神楽に魅せられました。ニコンD3、24-120mm f3.5-5.6D、82mm、F16、1/320秒、-1/3EV、広島県安芸太田町、2010.4.4

それは、普段では出会うことのない光景だった。
2010年4月4日。倉本雅史さんは、自身の主催する写真教室の撮影会のために訪れた広島県の「安野花まつり」で舞われる神楽を撮影することにした。
神楽は通常、神楽殿と呼ばれる専用の建物や、室内のステージや舞台などで演じられる。また、神楽は本来秋祭りの季節に日没から夜明けにかけて舞われるものが多い。日中、公民館やホールで舞われる場合は、わざわざ外光を遮り、天井の照明を

消し、ステージのみに光を当てて演じられる。しかし当日は日中の野外、しかも大きな桜の木の下で演じられた。さらに、大きな桜を生かすように神楽専用ステージは通常より低くつくられていた。
自然光のもと、桜の大きさを背景に舞われる神楽。初めて体験するその舞台は、どんなものになるのか。胸の高鳴りを抑えつつそのときを待つ。そして開演と同時に、倉本さんの目に飛び込んできたのは、何とも新鮮な開放感だった。

「先入観にとらわれず、心のままに撮ろう。それだけを思ってシャッターを切りました」
引き延ばし機を自作するほど写真が好きだった祖父。のちに師匠となる近所の写真店の跡継ぎとの出会い。カメラ機材を買うために色々なアルバイトをした。振り返れば、小学生のときから、写真が自分の世界を広げてくれたのだと実感する。16歳のときに、自分で撮影



ビーチにおいてあったスニーカー。かかとの?マークを見たときに「私はこれからどこへ向かうのだろう?」という思いが浮かびました。そこでスニーカーにピントを合わせ、浜から海へ向かう若者と水平線をぼかして撮影しました。ミノルタα-9、AFズーム 24-85、85mm、F5.6、ISO64、コダックエクタクローム64プロ

から現像、プリントしたモノクロ写真が10枚ほど売れた。このときの感銘と感激と共に多くの人が学んだことが写真家を志すきっかけとなった。だからこそ、写真に対して真摯に取り組みたいと常に願う。
「写真は読み物だと思っています。そこには、表面的なものだけでなく、被写体の本質や自分が心に感じたように具現化して写っています。それが観る人の心に物語を呼び起こすものになってくれればと思います。撮影しています。それに、写真を撮影することはときに礼を欠く行為でもあります。だからこそ絶対に謙虚さを忘れてはなりません」と、まっすぐな写真への思いを語ってくれた。



まだ日が昇る前、明るくなりはじめた空と桜を「露出補正」と「ホワイトバランス」で幻想的に仕上げてみました。
ニコンD4、AF-Sニッコール70-200mm f 2.8、F11、1/60秒、+1EV、ISO800、晴天モード（微調整でブルーをプラス）

さらにここに注目！
「露出補正」と「ホワイトバランス」を調整することで桜の向こうに見える月の明るさもバッチリ！

こんな写真撮りたくありませんか？
それなら…

『露出補正』と『ホワイトバランス』の『ツコシリ』

そこが知りたい！ 初心者向け講座 第7回 自分のイメージした桜撮影に挑戦

ナビゲーター 岩田賢彦さん



岩田賢彦（いわた・まさひこ）
㈱メディアカルフォトにて学術資料制作のチーフカメラマンを経て2002年に独立。現在、写真撮影をはじめ初心者向け写真教室や撮影ツアーで活躍中。写真ワークショップおもひで工房主宰、日本写真家協会会員。岩田さんの撮影教室はP34をチェック

【ココがポイント1】

「露出補正」で明るさを「ホワイトバランス」で色合いを調整

桜の撮影では、オートで撮影すると「イメージと違うかな」と思うことがあります。そんなときは「露出補正」や「ホワイトバランス」を使って調整してみましょう。

「露出補正」では写真の明るさを調整できます。写真を明るくしたい、暗くしたいと感じたら、この機能を使いましょう。

「ホワイトバランス」では色合いを調整できます。通常オートでも光の色（光源）に合わせて「白を白く」表現してくれますが、撮影時の時間帯や天候、場所によって、イメージどおりにならないことがあります。そうした場合は手動でホワイトバランスを設定しましょう。

このふたつの機能をマスターすれば、作品のレベルアップにもつながります。



オートで撮影して主題の桜が暗くなってしまったら、「プラス補正」で明るくするのが正解。右は露出補正なしで、左は+1.5EVの露出補正をしています

【ココがポイント2】

暗いと感じたら「プラス補正」、明るいと感じたら「マイナス補正」

春の花のトップバッターの桜。実際に桜を撮影してみたら、思ったよりも「暗い」ということがよくあります。そんなときはプラス補正の露出補正をして、しっかりと光を増やしてあげましょう。逆に撮影してみても「明るい」と感じたら、マイナス補正で光を減らしてあげることで理想の明るさで撮影できます。ご自身のカメラによって操作方法が違いますので、「露出補正のやり方」をしっかりと覚えましょう。

階的に変えて連続撮影できる「ブラケット撮影」が備わっているカメラもあります。しかし、この機能を使うと一眼レフタイプのカメラでは手ブレやカメラブレの原因になる可能性が高くなります。できるだけこの機能は使わず、一枚ずつ確認しながら、丁寧に補正して撮影することを心がけましょう。

左の写真は影で暗くなった女の子の顔を明るくするためにプラス補正に。桜が白くなりすぎないように気をつけています。



日差しが強く地面の照り返しが明るかったのと、女の子の顔に桜の影がかかっていたので、明るくするために「露出補正」をプラスに。
ニコンD3 AF-Sニッコール300mm f4、F8、1/640秒、+1.5EV、ISO200、晴天モード

【ココがポイント3】

ホワイトバランスを調整して桜のピンク色を引き出す

デジタルカメラは撮影時の光源によって色合いが変わってしまいます。それを調整するための機能が「ホワイトバランス」です。

一般的に、屋外での撮影は晴れや曇りなどの天候、そして朝夜などの時間帯に関係なく晴天モードに設定すれば、自然な仕上がりになります。逆に屋内で撮影するときは、照明や壁の色で光の色が変わってしまうのでオートホワイトバランスを活用しましょう。

応用編になりますが、ホワイトバランスを光源とは違う設定にして、カラーフィルターのように使うこともできます。桜の撮影では、晴天モードより白色蛍光灯にすれば、空の青色や桜のピンク色が強調できます。ホワイトバランスが微調整できるカメラの場合は、晴天モードでB（ブルー）をプラスに微調整するといいでしょ。

ホワイトバランスで色合いが変わると、明るさも若干変わって見えます。露出補正の調整もあわせて心がけましょう。



まさに「サクランボ？」と思わせるようなイメージで並んだ花とつぼみ。ピンクを強調したかったので「ホワイトバランス」を白色蛍光灯に設定しました。ニコンD4、AF-Sマイクロニッコール105mm f 2.8、F4、1/250秒、ISO400、白色蛍光灯

岩田先生と撮影しながら学べる講座は→P34

「写真、撮ろうよ。」でデジタル一眼カメラの初心者からステップアップ



4月は富士周辺で見頃の桜と富士山の組み合わせが撮影できます。構図を意識しながら撮影してみましょう

デジタル一眼カメラを使った初心者向けの撮影ツアー

PCC賛助企業のクラブツーリズムが開催している、デジタル一眼カメラを使った初心者限定の日帰り撮影ツアー「写真、撮ろうよ。」。このツアーでは関東各地を出発し、季節ごとに各名所を訪れます。同行するPCCフォトインストラクターがカメラの操作方法から上手に撮るコツまでを指導。さらに撮影場所に向かうバス車内では、上手に撮るためのコツがまとめてあるレジュメを配ってレクチャーをします。参加者全員が初心者ですので難しいカメラ用語を使って解説することはしません。安心してご参加いただけます。

このツアーでは参加者の方がステップアップできるように、カリキュラムを全6回に分け、1

回のツアーで1カリキュラムずつ学べるようになっていきます。ひとつずつ段階をふんで学ぶのが確実な知識と技術を獲得できます。自分の苦手分野を克服したい方は、苦手なカリキュラムをテーマにした日程だけを選んで参加することも可能です。見応えのある景色を前にすれば上達意欲が高まること間違いなしです。

1名所ごとで1カリキュラムが学べる

全6回のカリキュラムに分けられた撮影ツアー。カリキュラムのテーマに応じた最適かつ絶景の撮影場所もこのツアーの醍醐味。今後のカリキュラムと訪れる名所をご紹介します。

4月のテーマは「構図」。世界遺産に登録された富士山を撮りに山梨県を訪れます。春ならではの桜をバックに、どのよう

質問にでも応えてくれます。

また、到着していきなりの撮影会では戸惑ってしまいますよね。このツアーでは撮影に向かうバス車内でのレクチャーをはじめ、分からないことがすぐに解決できるように質問時間をたくさん設けているので、自分のペースで学ぶことができます。「親身なレクチャーに満足した」「分かりやすく、来てよかった」とバスでの事前レクチャーは大好評です。デジタル一眼カメラの初心者限定のこのツアー、懇切丁寧なインストラクターとともに楽しみながらステップアップしませんか。

「写真、撮ろうよ。」ツアーのココがおススメ

おすすめ1

カメラの操作方法や撮影のコツなどを指導するPCCフォトインストラクターが同行するので安心

おすすめ2

年間を通してさまざまな撮影地と撮影テーマで経験値が上がる

おすすめ3

上手に撮るコツのレジュメつきなので、「学び」をお持ち帰り

おすすめ4

バス車内ではレジュメを使ったレクチャーで理解が深まる



5月のテーマは「露出・露出補正」。なかなか個人では入れない静岡県の茶畑で撮影してみましょう



季節ごとの見頃ポイントで、じっくり撮影ができます



6月は「シャッタースピード」を意識しながら千葉の栗又の滝で撮影。3万株のあじさいが咲き誇る花野辺の里にもご案内します



7月は「ホワイトバランス・ISO感度」を調整して、高原の花々の撮影に挑戦。シラカバ林に咲く鮮やかなユリを楽しめます

旅行販売の現地カメラマン募集に引き続き

フォトナビゲーター募集中

フォトナビゲーター事務局(株)クラブツーリズム+NPO法人 フォトカルチャー(倶楽部)では楽しく学べる、フレンドリーに学べる写真撮影ツアー「気軽にカメラを持って出かけよう」で旅行のケアや写真撮影のフォローをする「フォトナビゲーター」を募集します。

■こんな方いらっしゃいませんか

旅も好き、写真も好き、人と会うのも好き。18歳～40歳(社会経験がある方)。首都圏に住んでいる方。カメラの知識がある方(フォトマスター検定3級レベル※資格取得は必須ではありません)

■こんな感じのツアー

旅行が好きで、写真も楽しみながら旅行をしたいと思っている方が参加するツアーです。日帰りツアーからバスで行く1泊2日のツアーまで春・秋を中心に年間50本程度のツアーを考えています。

■業務内容

カメラの使い方フォロー/旅行サポート/ツアー下見
平日・休日ともにツアーあり。月1回からでもOK

■待遇

1日15,000円～
交通・宿泊費のほかに日に応じて支払われます

■安心の研修制度

添乗業務がはじめての方も安心。添乗業務に必要な旅程管理主任者資格は2日で受けられるライトなもので、特別価格で受けられます。また、現状のツアーで体験旅行をすれば自信がつかます。(バスツアー限定、昼食代実費)

■応募のしかた

PCCのホームページから応募シートをダウンロード、必要事項を記入し、下記まで郵送してください
※お送りいただいた書類はすべてフォトナビゲーター事務局で共有します
書類審査後の面談で採用決定します。
〒160-0004 東京都新宿区四谷4-28-20-205
フォトカルチャー(倶楽部)「フォトナビゲーター」募集係

■応募締切

2014年5月31日(土)当日消印有効
問合せ:03-3356-3552(平日10-18時)

お問い合わせはこちら



クラブツーリズム
TEL:03-5323-6990
営業時間:月～土 9:15～17:30
日・祝は休業
詳しくは [クラブツーリズム 写真](#) 検索
資料請求は
NO.101720(アイゼロイテナナニゼロ)を
お申し付けください

な構図でとらえたら富士山が映えるのかを学びます。
5月のテーマは「露出・露出補正」。撮影地は静岡県の茶畑です。初夏、残雪の富士山を、今度は広大な茶畑越しに撮影します。新緑、雪解けの富士山、澄みきった空のコラボレーションで心地よい作品になるはずですよ。
6月のテーマは「シャッタースピード」。千葉県花野辺の里と房総の名瀑といわれる栗又の



昨年は桜の開花が早く、ソメイヨシノから里桜への移り変わりが息つく暇もないほどでした。そんなことも、自然を撮影する楽しみです
ニコンD600、24-120mm f/4G ED VR、F6.3、1/640秒、ISO400

写真家の創造力を刺激する シンプル&コンパクトな機材

思い出をつくる道具たち 12 写真家・木村正博さん



レンズを付けたまま収納できるバックパック
カメラ専用の収納スペースが搭載され、カメラにレンズを装着したまま収納が可能です。さらに、頑丈な素材でつくられた外装や、記録メディアを入れるポケットなど、かゆい所に手が届く機能が盛りだくさん。カバーをまるまる包み込む「オールウェザーカバー」は、機材が濡れるのを防いでくれます



携帯用ラジオは山歩きの必需品
ポーチに入っているのは、携帯用ラジオ、懐中電灯、折りたたみ傘など。ラジオは山を歩くときの必需品で、音を鳴らして人間の気配を知らせておけば、クマに遭遇する危険が少なくなるそうです。もちろん、深い山中で気象情報を知りたいときにも重宝します



カメラのメンテナンスに欠かせない
イノシシの毛のブラシ
ボディに付着した砂埃をはらい落とすためのブラシです。以前は歯ブラシを使っていましたが、現在はイノシシの毛のブラシを愛用。なんと同じものを2本所有。機材を傷つけない、適度な硬さが使いやすいそうです



10年以上使い続けている
万能タオル
愛用のタオルは、大切な機材を雨や湿気、結露から守るためのもの。レンズごとすっぽり包んで輪ゴムでとめれば、カメラ自体の防寒になり、低温でバッテリーが作動しなくなることも防げます。ちなみに、タオルはノリがきた新品よりも、使い古したもののほうが吸水性がよいのだとか。もちろん、タオルは温泉に入るときにも役立つそうです(笑)

「軽く、少なく」。木村正博さん 必携アイテム

撮影機材&持ち物リスト

- 【バックパック】
ロープロ「DSLRビデオファストバック 250AW」
- 【カメラボディ】
オリンパス OM-D E-M1
- 【交換レンズ】
M.ズイコー DIGITAL ED 12-50mm F3.5-6.3 EZ、
ズイコー-DIGITAL ED 50-200mm F2.8-3.5 SWD、
ズイコー-DIGITAL 35mm F3.5 Macro、
ズイコー-DIGITAL 2x Teleconverter EC-20
- 【その他】
ケンコー サークュラーPL(円偏光)フィルター
(52mm・67mm)



愛用の機材をすべて 収納するバックパック

木村さんの撮影スタイルは、「機材はできるだけ、軽く、少なく」が信条。最近ではオリンパスOM-Dと数本の交換レンズだけで撮影にのぞんでいます。「OM-Dの場合、35mm判換算で焦点距離が2倍になるのが大きなメリットですね。レンズは12-50mmと50-200mmの2本があれば、通常の被写体はほとんどカバーできますから」バックパックには、愛用の機材がコンパクトに収納。1泊程度の撮影であれば、着替えも一緒に入れてしまうとか。ハクバ写真産業のロープロ「DSLRビデオファストバック250AW」は、そんな木村さんにとってつけのアイテムです。

タオルが一本あれば 雨の日の撮影も大丈夫！

野山を歩く一方、木村さんが17年間撮り続けている被写体があります。それは東京・新宿御苑の四季折々の表情。約65品種の桜をはじめ、1万本を超える樹木が植えられたこの公園を、

こんな写真撮りにいきませんか？
旅のお供にこのバッグ



ロープロをもっと知りたくなったら
ロープロ

木村さん愛用の ロープロ 「DSLRビデオファストバック 250AW」 PCC 会員限定 1名様にプレゼント!

下記QRコードを読み取ってご応募ください。QRコードが読み取れない場合は、「npopcc」で検索してPCCホームページから、またはFacebookフォトカルチャー倶楽部ファンページからご応募ください

応募締切 2014年4月30日(水)

応募先

※ウェブからのみの応募となりますので、あらかじめご了承ください

木村さんは一年中訪れています。「2月の後半にはカンザクラが咲き、4月に入るとソメイヨシノや、オオシマザクラなどの改良品種が開花します。桜がないのは5月後半から10月前半の間くらい。この時期以外は、公園のどこかに必ず咲いているんです。中でも樹木が美しく映えるのは、雨が降り始めたとき。適度な潤いが木肌をみずみずしく見せてくれるんですよ。機材が濡れないかって？ タオルを持っているから大丈夫です(笑)」偶然にもこの日、木村さんとお会いしたのは、新宿御苑のすぐそば。取材を終えると、機材の詰まったバックパックを軽々と担ぎ上げ、少年のような足どりで撮影に向かいました。

プロの金言 庭や公園など 身近な自然に 目を向けてみよう



「お歳を召されたり、病気をされたりすると、遠くへ出かけるのがおっくうになって、撮影の機会が減ってしまう人もいますが、それはとてももったいないことです。なぜなら、身近なところに目を向ければ、自然の変化がたくさんあるからです。たとえば自宅の庭や近所の公園でも、毎日観察していれば、昨日と違う発見があるものです。その一番いい時期を逃がずに写真に取れば、プロでもかなわない写真が必ず撮れるはず」

木村正博(きむら・まさひろ)
1948年、神奈川県箱根町生まれ。カメラメーカー、写真雑誌編集勤務を経てフリーに。NHK学園、各メーカー写真教室講師を務める。新宿御苑フォトコンテスト、全日本福祉写真協会フォトコンテスト、日本野鳥保護連盟公募カレンダー審査員。著書に「新宿御苑 撮影・散策ガイド」など。日本写真協会、日本自然科学写真協会会員。

思い出づくり 相談室

お客さまなんでも相談室 春、やっぱり挑戦したい 花のマクロ撮影

春。桜をはじめ艶やかな花がきれいに咲きはじめる季節の到来です。そこで、今回は花を素敵に撮るためのポイントをご紹介します。とくに、花をアップで撮る方法について話を聞いてきました。

Q1 花の撮影には、マクロレンズが絶対必要ですか？

A1 まずはクローズアップレンズを使ってみるのもひとつの方法です

花の撮影といえば、マクロレンズが必要だというイメージをお持ちの方も多いと思います。しかし、工夫次第でマクロレンズでなくても、今持っているレンズを活用して、花をアップで撮る方法はあります。そのひとつがクローズアップレンズを使うこと。クローズアップレンズは、手持ちのレンズにフィルターのように取り付けることによって、



クローズアップレンズやマクロレンズを使って花の撮影を楽しみましょう



マクロ専用レンズ(左奥)、マクロ機能付ズームレンズ(右奥)やクローズアップレンズ(左前)、中間リング(右前)など接写するためのアイテムはいろいろあります

Q2 本格的な花の接写でおすすめの撮影方法がありませんか？

A2 マクロ機能付レンズを使えばより鮮明な画像の作品を撮ることができます

花を接写で本格的に撮るには、やっぱりマクロレンズがおすすめです。被写体をどのくらい大きく写せるかは、スペックの「最



クローズアップレンズは番号が大きいほど被写体に近づいて撮影できます



クローズアップレンズを使用したときの接写撮影



マクロレンズを使用したときの接写撮影

答えてくれた人 マクロの達人

宮島一夫さん
中学生のころから「風景」「花」「鉄道」「飛行機」を撮り続けて40年。超望遠からマクロ撮影まで幅広く撮影しています。休日はニコンD7000をぶら下げて電車のある風景を撮っています。



お客さまなんでも相談室
PCC会員専用コールセンター
☎050-3033-0066
受付時間10:00～20:00 年中無休



カメラのキタムラ「コールセンター」お客さまなんでも相談室。その名の通り、カメラや写真のことならなんでも相談できます。今回は、春の花々を撮る機材についてお聞きしました。

思い出づくり 研究所

思い出写真で何が読み取れるかを実験 昔の「気になる」写真で自分磨きのきっかけに

PCCのシンクタンクである思い出づくり研究所では、皆さまの思い出の残った写真について調べていきます。今回の実験では「気になる」写真で過去の自分と今の自分を比較します。一体どのような結果が見えてくるのでしょうか。

「気になる」写真は、そのときにがんばった記憶が残っている瞬間

研究員の高野奈穂子さんの場合、学校行事の写真や集合写真を多く選びました。選んできた写真を見て「学校行事や仲間が集合している写真は、見返すと当時を振り返ることができ、連動してその前後の思い出もよみがえるから」と高野さんは自分の用意した写真について考察しました。特に高校の学園祭で撮影した写真では、文化祭でがんばった高野さんが写っており、「この頃から自分には足りないと感じている積極性を出していこう」と意識しはじめました」と当時の気持ちを思い出していました。

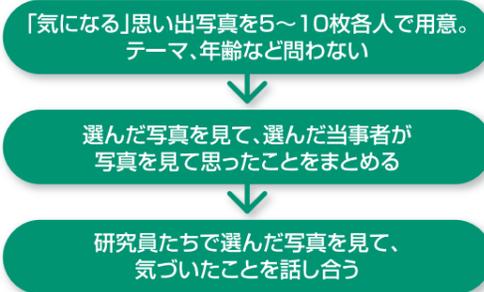
ほかの研究員は過去の写真を見て、「今のほうが積極的な印象があり、昔の高野さんを知ら

ないけれどずいぶん変わったように感じる」というコメントがでていました。今回の実験で、高野さんは「見た目はあまり変わらなくても、意識して成長したいと考えていることが少しずつ今の自分に表われているのかもしれない」と現在の自分のことを再認識できたそうです。

高野さんは実験を終えて、自分が「こうなりたい」と思っていた気持ちは、そう思っていた当時の写真を見るとよみがえってくる、ということに気づき、自己観察力を磨くひとつの方法として「思い出写真」が有効活

用できるのでは、と考えました。選んだ写真そのものが特に「気になる」ものではなくても、高野さんにとっては思い出深い瞬間が思い出される写真が「気になる写真」です。実は写真は、思い出を記録するだけではなく、実は自分磨きをするための自己観察力を高めるツールとしても使えるのです。みなさんも、過去の写真を見ながら「自分磨き」を試してみませんか。

実験方法



過去の写真は自分を振り返るひとつのツールになる
過去の写真を見ると、その当時の自分の「こうなりたい」という思いが、現在の自分につながっているか確認できる
過去の写真で自分の価値観や何を大切にしているかなどが明確になる



大学2年生の頃、大学祭実行委員のみんな。去年より人数が増え、副長としてがんばった



高校1年生の頃の学園祭劇で「シンデレラ」を上演。全員の力を合わせてクラスで大賞を受賞

まとめ

- 過去の写真は自分を振り返るひとつのツールになる
- 過去の写真を見ると、その当時の自分の「こうなりたい」という思いが、現在の自分につながっているか確認できる
- 過去の写真で自分の価値観や何を大切にしているかなどが明確になる

思い出づくり研究所とは



PCCのシンクタンクである思い出づくり研究所とは、早稲田大学の 大野高裕教授を所長に、思い出の残し方について調査・分析・考察をし、その重要性について情報発信していく研究室です。

新たに加わった研究員の皆さん



阿部有美さん 小林侑生さん 高野奈穂子さん 藤井亜紗子さん

スマホ写真を素敵な思い出に変える魔法

1. 「プリントする」という魔法

一枚の写真に癒やされるってこと、何度もありますよね。でも、スマホの中の画像より、プリントした写真のほうが、ずっと、心をなごませてくれます。自宅でもカメラ屋さんでもいいので、一度プリントして手にとってみてください。「大切な一枚」になる魔法があります。



額に入れて飾れば、いろいろな人に見てもらえます

2. 「まとめる」という魔法

大切な思い出や絆を確かめることのできるアルバムは家族の宝物。フォトブックでまとめてみてはいかがでしょうか。あらためて開くと当時はわからなかった驚きや喜びがいっぱいです。フォトブックにすれば、贈り物にもなります。アルバムやフォトブックをつくった人の「愛情が感じられる」魔法があります。



アルバムなら直筆のコメントを入れるなど、工夫がたくさんこらせます

3. 「雑貨にする」という魔法

スマホケース、カレンダー、マグカップ、そしてポストカード。最近ではサッカーボールにまで写真をプリントすることができるようになりました。大切な思い出を肌身離さず持ち歩いたり、いつも見える場所に飾ったり。写真が「プレゼント」になる魔法があります。



ポストカードにすれば、年賀状や出産の報告などで「今」が伝えられます

もっと素敵な思い出にする
魔法が知りたくなったら

『スマホで撮った写真を素敵な思い出に変える5つの魔法』を
読んでみてください

大切な瞬間をすぐにおさめられるスマホは現代の日本人には欠かせない思い出づくりアイテムです。そんなスマホで今しか撮れない瞬間を撮ったら「形」にしませんか。きっとスマホの画面だけでは伝わらなかった喜びや感動が伝えられるはずです。
スマホ写真を素敵な思い出にする方法を提案している『スマホで撮った写真を素敵な思い出に変える5つの魔法』(ダイヤモンド社)は全国書店、アマゾンで発売中です。



定価：本体1,500円+税

思い出を
残す
新方法

撮りっぱなしのスマホの写真を思い出に変える方法
あなたのスマホ写真、
撮りっぱなしのままで大丈夫ですか？



スマホで残した写真も大切な思い出です。形にして残しませんか

「プロ友」松岡里佳さん

——読者から、スマホで撮影した写真が知らない間にたくさんたまってしまい、つい撮りだめたままにしてしまうという話をよく聞くのですが。
日常のワンシーンを気軽に残せるスマホは、気がつくとも100枚、または200枚たまっていった、ということもめずらしいことではありません。撮ったままにしているのは、見返すのも大変ですよ。そこで今日は、スマホ写真の上手な残し方について少しお教えしましょう。
——やはりプリントするというのはいい方法でしょうか？
そうですね。スマホの中の画像よりプリントした写真のほうが、心がなごむという声をよく聞きます。気に入っている写真だけでもプリントしておくとかの人と共有できる楽しさが味わえます。友人やご両親などにプレゼントしたり額に飾ったりするなど、多くの人の目に触れ

たり、交流を持てたりするのは、プリントならではですね。
——なるほど。やっぱりデータのままスマホの中に残しておくだけではもったいないですね。
プリントした写真はアルバムに整理しても楽しいですし、今なら簡単につくれるフォトブックやポストカードなどの形で残す方法もあります。写真は本来、撮ることはもちろんですが、その撮った写真を見ることで思い出を共有できるんです。最近ではサッカーボールにまで写真をプリントすることができるようになりました。大切な思い出を身近に置ける、こういったフォトグッズを利用すると写真の楽しさも広がります。
——そういった意味で、現代の写真は人とのコミュニケーションを深めてくれる魔法といえるかもしれませんね。
はい。そのためにも、データのバックアップが大切なんです。

手軽に毎日持ち歩くからこそリスクも大きく、突然の紛失や故障によってデータがすべて消えてしまった人の話も少なくありません。バックアップのやり方がよくわからない、データの消失なんて自分には起こらないなどと考えず、何らかの形で画像データを保護するべきです。
——思い出を残すためには、そのデータをきちんと残すことも大切なんです。
スマホで撮った画像をきちんと「残す」ことはとても簡単なことです。しかし、とても大切なことなのでぜひその方法を知っておいてほしいのです。カメラのキタムラのスタッフが監修した『スマホで撮った写真を素敵な思い出に変える5つの魔法』(ダイヤモンド社)ではスマホ写真を「残す」ための方法をいろいろとご提案しています。興味を持たれた方は、ぜひ読んでみてください。

スマホで撮りっぱなしの写真、どうしてですか？ 今回はカメラのキタムラの駒場さん、大谷さんに、スマホで撮った写真の上手な残し方について編集部が聞いてきました。



カメラのキタムラ
駒場さん、大谷さん

新たな旅立ち 入園・入学の思い出を残す

春は子どもの新たな旅立ちのとき。

プロの撮影で思い出を色鮮やかに残しませんか。PCCでは入園・入学の思い出や家族の思い出をきれいに残せるスタジオマリオの店長におすすめポイントを聞きました。



スタジオ撮影なら高品質な仕上がりで残せます

自分で写真を撮ると光の加減やシャッターチャンスが難しいもの。スタジオで撮影すればプロのカメラマンが引き出した自然な笑顔を、設置された照明が鮮やかに写し出します。入園・入学を控えた子どもを記念に残すのはもちろん、いつも撮影係で写真に写れないお父さんも家族そろっての家族写真になるのがうれしいですね。撮影だけでなくプリントまでプロの手で仕上げているので高品質な仕上がりが魅力のひとつです。

店長おすすめ 1

撮影から
プリントまで
プロの手で
仕上げます



スタジオマリオ岡山/高柳店
松本店長



色や形が豊富な衣装がたくさんあります

スタジオマリオではシーンにあわせた小物類、約400点の豊富な衣装を用意しています。何度着替えても無料なのでじっくりお選びいただけます。衣装に合わせてヘアセット、メイクアップもお任せください。衣装選びもスタジオ撮影ならではの楽しみですよ。また、ご自宅から思いつきの品やお気に入りの洋服を持参されるのも大歓迎。幼稚園の制服と小学校の制服をお持ちいただければ、卒園・入学両方の記念撮影ができるおすすめです。

店長おすすめ 2

撮影は
何着でも
お着替え無料



スタジオマリオ七尾/本府中店
富樫店長

卒園・入学の思い出を残すには、写真だけでなく、思い出の品や思い出の場所を写すことも大切です。スタジオマリオでは、思い出の品や思い出の場所を写すこともできます。また、思い出の品や思い出の場所を写すこともできます。

店長おすすめ 3

マリオフォトCDの
購入で自宅で
何度も写真が
楽しめる



スタジオマリオ東大阪/石切店
中村店長

スタジオマリオでは、商品として購入したすべての写真データが入った「マリオフォトCD」を5000円＋税で購入できます。かわいらしいデザインのCDにタイトル、撮影日、お名前を入れます。パソコンで気軽に写真を見られる上に、ポストカードやフォトブックの作成も可能。入園・入学の報告を自作のポストカードで出すなんて素敵だと思いますか？ おじいちゃんおばあちゃんにも喜ばれること間違いなし。いろいろな方法で何度でもお楽しみいただけます。



「マリオフォトCD」で購入した写真はパソコンなどで楽しめます



お客様 なんでも相談室 TEL.050-3116-8888 受付時間10:00~20:00 年中無休 専門のスタッフが電話で全力サポート!

<http://www.studio-mario.jp>

スタジオマリオ

写真の整理、いつやるの？

卒園、卒業 子どもの節目は 整理のしどき

子ども中心のイヤーアルバムに



新機能「主人公設定」で子どもを主人公にすれば、子ども中心のアルバムが簡単にできます



子どもの入園・入学前までにためている写真を整理しましょう
「春の風に立ち向かう」 斎藤弘昌さん

思い出シリーズ 4

今ドキの
思い出の
残し方

春は一年の節目。やるなら今！
イヤーアルバムで写真を
いつきに整理する！



子どもの卒園・卒業が終わったら、ひと息つくその前にこの一年に撮影した数多い思い出の場面を、わが家だけのオリジナルな形で残しませんか。イヤーアルバムを使えば、急がしい時期でも最短5分ですっきり整理できます。

節目となるこの季節
写真整理もベストタイミング
幼稚園や各学校の卒業・入学を控えたこの時期は、子どもを持つ親にとって生活はもちろん、気持ち的にも節目となり、写真を整理するのにベストな季節。しかし、デジタルなこの時代、写真撮影も簡単便利になった分だけ、見返してみれば気づかないうちに撮影した写真の枚数が、予想外に多かったと思っている人も少なくはないはず。それらの写真を整理するのは、かなりの労力と時間を費やしてしまうことになるでしょう。

おすすめしたいのが
「イヤーアルバム」！

イヤーアルバムは、たとえば2013年4月〜2014年3月までの期間の設定で選択すれば、その期間の画像データから、最適な画像データを自動的にチョイスして、レイアウトまでしてくれる画期的なアルバムです。どの写真にするか悩む時間

を省き、ソフトがピンと・構図・明るさなどの条件で選んでくれます。レイアウトされた画像の変更も自由自在。また、パソコンに保存された画像を期間でチョイスすることも可能です。タイトルやコメントを追加するなどひと手間かけると、思い出がいつそう引き立つこと間違いなし。しっかりとしたハードカバーの写真仕上げになるので、長期の保存にも最適です。

新機能「主人公設定」で
ベストな写真をチョイス！

さらにうれしいのが、新たに「主人公設定」機能が登場したこと。あらかじめメインの人物を設定すると、その人物を中心にした画像をチョイスして大きくレイアウトできるようになります。つまり、自分が主人公のアルバムはもちろん、友人や親など特定の人物を主役にしたアルバムをつくれるのです。イヤーアルバムは、まさにこの時代だからこそ可能になった「思い出の残し方」です。

<http://www.kitamura.jp>

カメラのキタムラ



貯まる!
使える!

被写体大辞典
特別編

フォトカルチャー倶楽部で3月に発売

美しい日本の風景 四季を撮る

街中に、家中にある被写体たち。今回は日経ナショナルジオグラフィック社より発売されるPCC編『美しい日本の風景 四季を撮る』から、これからも伝えていきたい、残していきたい日本の四季をご紹介します。作品へのコメントは本書に記載している竹内先生のコメントや、撮影テクニックについて述べているコメントを抜粋しています。



「春の叫び」進藤鉄雄さん

青森県

青森市 八甲田山麓

洞窟状に穴の空いた身体をもともせず幹を天に向かっている樹木の雄々しい姿。こずえには萌える新芽。遠近を強調した広角レンズの絶妙な構図で、待ちわびた春をとらえています。



「盛春の輝き」須田茂樹さん

長野県

伊那市 高遠町

平面的になりがちな構図ですが、光のとりえ方がよく、写真に奥行きが出ています。空の色も鮮やかですね。



「朝霧」石曾根正志さん

岩手県

宮古市 亀ヶ森

木の全体ではなく、一部を切り取り、背景に白い木を置くという構成により、堂々とした桜の威容がより強く表現されています。



「迫る雲」平井弘史さん

長野県

安曇野市

PLフィルターを使って、空をより青く表現したことで、雲の形が強調されました。山々の様子も美しい作品です。



山口県

岩国市

水中の紅葉をうまくとらえた作品。マイナス側へ露出補正することで紅葉の濃度を上げ、コクのある赤い色を出して写真の力を強めています。対角線上に配置した影が、迫力をさらに増しています。



「森の妖精」堀内勇さん

和歌山県

東牟婁郡 串本町

美しい星空をバックに光るキノコを撮影した作品。手前のキノコから後方の星空までびったりとピントが合っているところに技術力の高さを感じます。



「キャベツの岡」須藤東二さん

群馬県

吾妻郡 嬬恋村

どこまでも続く畑、青空の白い雲。ダイナミックな構図と巧みなPLフィルターの効果で色鮮やかに仕上がりました。



「水面に浮かぶ小路」福田浩幸さん



「恋の季節」片山修さん

北海道

釧路市 阿寒町

超望遠レンズによって得られる背景の絶妙なボケ味のなかに、優雅なタンチョウヅルの舞を見事に浮かび上がらせています。



「ぬくもり」篠崎智宏さん

茨城県

常総市

露出をプラスに補正することで寒々しい雪景色が温もりあるメルヘンに転化しました。よく見ると「人」という文字が線路で描かれていて、朱色の列車が効果的に浮かび上がっています。



表紙はイメージです

春には桜、夏には新緑、秋には紅葉、冬には雪景色と、四季折々、日本の風景はさまざまな表情を見せてくれます。有名な撮影地でも、見たことのない景色がたくさんあります。『美しい日本の風景 四季を撮る』では、日本各地の四季の写真200点あまり掲載。撮影のポイントが全作品にあり、フォトコンテストに応募しようという方も必見です。PCC顧問で風景写真の第一人者、竹内敏信氏による四季の写真もあり、一年中をこの一冊で満喫できます。お近くの書店でお求めください。

「日本の四季」をもっと見たい、「撮影方法」をもっと知りたい方は

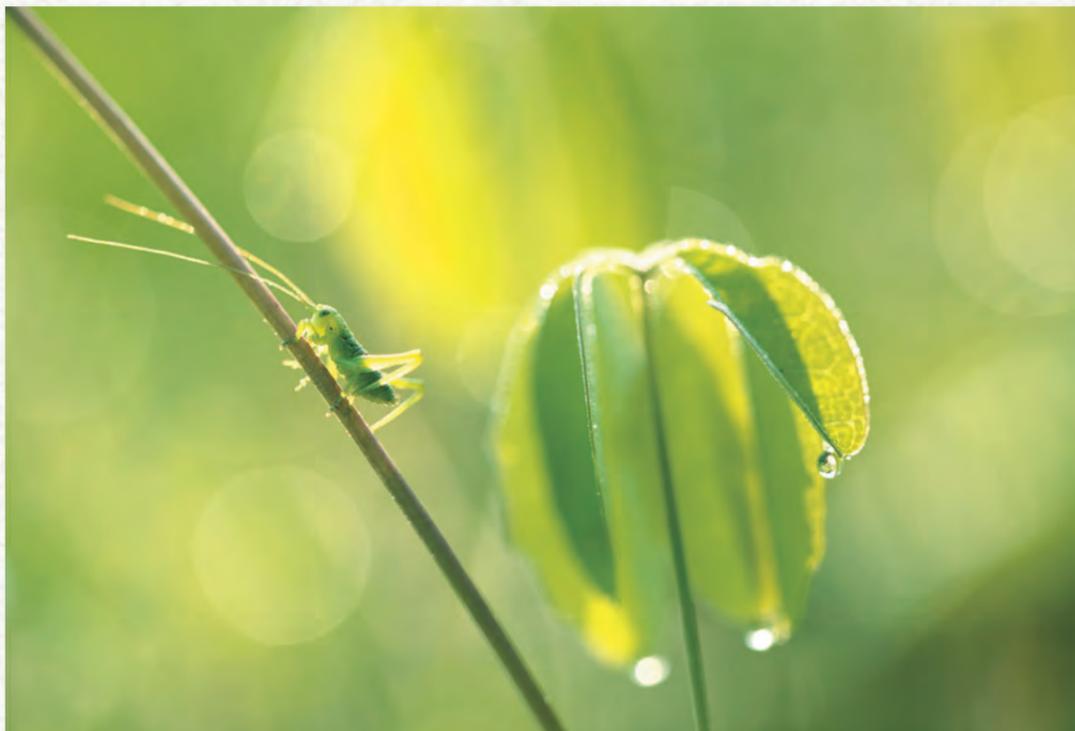
『美しい日本の風景 四季を撮る』

日経ナショナル ジオグラフィック社
定価：本体2,200円+税 A4判 176ページ 3月31日発売予定
詳細は nationalgeographic.jp

新しい写真体験を マクロの世界 新発見!

ナビゲーター・石井孝親さん

「みんなで新しい写真体験を!」はPCCのスローガンです。風景、人物、水中、マクロ、写真のテーマはいろいろです。今回は、マクロ撮影を主に行っているカメラマン・石井孝親さんにマクロ撮影について聞きました。



石井さんのマクロ写真がもっと見たい方は、「光を生かす花の撮影術」(日本カメラ社)もチェック。全国書店、アマゾンで発売中です。



定価: 本体1,600円+税

孵化したばかりのヤブキリの幼虫は体が透け、すらりとし伸びた触角が美しい。ヤブキリの名は、藪に住むキリギリスから付きました。(作品タイトル「暖かな春の日差し」)
キヤノンEOS5D MarkIII、タムロンSP90mm F/2.8 Di MACRO 1:1 VC USD、F2.8、1/250秒、ISO100、太陽光、神奈川県横浜市

太陽に向かって歩き、太陽に向かって撮る

私が初めてマクロ撮影したのは14歳のとき。理由は単純、花や昆虫が大好きだったからです。両親に言わせると、物心つく前から「虫、虫」と言っていたそうです。だから、最初の一枚がマクロ撮影だったのも、必然だったのかもしれない。以来、私にとっての標準レンズはマクロレンズになっています。

マクロ撮影には自然をより身近に感じ、対話しながら撮るような楽しさがあります。写真教室では「太陽に向かって歩こう、太陽に向かって撮ろう」とよく言っています。青春ドラマのタイトルではありませんよ(笑)。

逆光でマクロレンズ越しに撮ると、生物の生き生きとした姿や透明感が表現でき、それは美しいのです。たとえば昆虫の触覚や葉っぱの葉などをマクロレンズを使って、逆光でファインダーを覗いてみてください。被写体が透き通って見えるはずですよ。肉眼では見ることのできない小宇宙の世界にしばし身をゆだねる心地よさは、マクロレンズでの撮影ならではの、素直に童心に戻ったような気分になります。



石井孝親 (いしい・よしちか)

1967年横浜生まれ。2000年よりフリーカメラマンとして活動を開始し、昆虫や花のマクロ撮影を主に自然風景を撮影、活躍している。写真集に『光を生かす花の撮影術』『光と彩の季節』(ともに日本カメラ社)など。日本自然科学写真協会(SSP)・日本広告写真家協会(APA)会員。

●オフィシャル・ホームページ
石井孝親のネイチャーフォト
<http://www2.ttcn.ne.jp/naturephoto/>

自然撮影でマクロレンズで撮影する場合、無理な演出はやめましょう。演出したものはどうしても鑑賞者にわかってしまうからです。自然風景写真は、スチル撮影のようにじっくり込めるものではありません。だからこそ、楽しみがあります。花に霧吹きで水をかけたり、ハサミで茎を切って撮影したりする人もいますが、そういった細工をする気はしません。

今はオートフォーカスや手ブレ補正など、カメラの機能がアップして、マクロ撮影もしやすくなりました。若い人にもぜひマクロ撮影の面白さを味わってほしいと思います。



The Trusted Original™

ロープロは、写真家をサポートするオリジナル商品を創造し続けます。



©DayMen Canada Acquisition ULC

重要なお知らせ

違法コピー品にご注意ください

最近、インターネット等で安価に販売されている「Lowepro(ロープロ)」ブランド商品においてコピー商品(偽物)が出回っており、ご購入されたお客様から多数の被害報告を受けております。これらのコピー品は品質が粗悪であるだけでなく、Loweproの商標権や意匠権を侵害するものです。弊社はその一掃に向け取り締まりを強化しておりますが、市場価格より安い販売価格やデザインに不審な点があるなど疑わしい商品にはご注意ください。

ロープロ

検索

●製品改良のため予告なく仕様、デザインなどを変更することがありますのでご了承ください。

ハクバ写真産業株式会社 お問い合わせ先 受注センター TEL: 0568(85)0898 FAX: 0568(85)0899

RICOH
imagine. change.



精悍、かつ、精緻。

機動性と描写力が高度なレベルで両立。こんな独創的なカメラは、はじめてかもしれない。

- フィールドカメラの条件、小型・高性能。防塵・防滴。堅牢ボディ
 - 高い解像度の光学ローパスフィルターレス24M CMOSセンサー
 - モアレ・偽色を軽減できる世界初*の機能、ローパスセクター
 - 27点測距ポイント(クロス25点)対応のAFシステム、SAFOX 11
 - シーン認識力を大幅に高める、約8.6万画素RGB測光センサー
- *レンズ交換式デジタルカメラとして、2013年10月現在、リコーイメージング調べ

ペンタックス K-3、あなたにとってかけがえのない一台となる。

究極のフィールドカメラへ

PENTAX K-3

好評発売中

W受賞 『日経ビジネス』2013年8月5日号

2013年アフターサービス満足度ランキング デジタルカメラ部門
リコー: 1位 ペンタックス: 2位

- 連続撮影8.3コマ/秒* ●連続撮影可能約60コマ*
- 新画像処理エンジンPRIME III ●最高ISO 51200
- ペンタックス リアルタイムシーン解析システム
- 4K対応インターバル動画



リコーイメージング株式会社
お客様相談センター: 0570-001313(ナビダイヤル)または03-4330-0008 www.ricoh-imaging.co.jp



三脚やタイマー撮影、マニュアルフォーカスを使って、桜の撮影をします



古市流・桜の撮影はテクニクを駆使して桜を浮き立たせる

朝・昼・夜。状況に応じた桜を撮りきる

2013年4月中旬、古市さんが早朝から訪れたのは、福島県二本松市郊外。合戦場のだらね桜を撮影するためです。

「ノイズを抑えるため、朝の撮影では、必ずISO感度を100に設定しています。シャッタースピードを速くできないので、しっかりと三脚を使います」少し離れた場所からは、テレコンバーターを使用するなどして撮影を終え、箱石の追猪(おい)の桜へ。広大な背景と桜の存在感を同居させた構図を狙います。

「いちばんいいポイントにピントを合わせ、F8まで絞り、パンフォーカスで撮影します」移動した郡山市では、樹齢約400年の紅枝垂地蔵桜に望遠レンズを向けます。ここでは、ブレを防ぐためにミラーアップ機



ノイズを抑えた撮影には三脚は必須です

能をオンにして、タイマー撮影を2秒に設定しました。最後は、以前道に迷ったときに偶然見つけたという子授け桜で、夕闇に映える花明りの撮影です。フォーカスモードをマニュアルにしてピントを合わせ、見事に桜を浮き立たせました。このほか、丁寧な機材の紹介など内容満載の古市流桜撮影テクニク。この続きはDVDでぜひご覧ください。

ただいま制作中 鎌形 久さんの秋の紅葉撮影術

『フォトコンライフ』No.59の特別付録DVDには、写真家・鎌形 久さんが出演予定。新潟県五泉市でロケをしました。鎌形さんは紅葉撮影をどのようなテクニクで教えてくれるのでしょうか。No.59のDVDをお楽しみに。



古市智之(ふるいち・ともゆき) 1967年、東京都生まれ。竹内敏信氏に師事したあと、新聞社の嘱託カメラマンとして活動。40歳から自然風景写真家として活躍している。2013年のキヤノンカレンダー作家。JPS(日本写真家協会)会員



PCCのプレミアム会員になると 著名写真家の撮影テクニクも学べる 『フォトコンライフ』を年4回お届け

詳しい会員申し込みはP46へ

付録DVD 春号 「旬を撮る」

テーマ別フォトコンテスト 「華のある風景」 グランプリ決定の瞬間

さらに中身を覗き見!

写真家・古市智之氏の桜撮影に取材班が密着。福島県二本松市・郡山市の桜を古市さんのテクニクとともに紹介します

谷口泉のデジタルカメラ講座 特別編 「心構えは『撮影7割 仕上げ3割』」

デジタル時代の作品づくりを解説。作品づくりの心構えは「撮影7割、仕上げ3割」。この黄金比について、プロの撮影現場を覗きながら詳しく解説していきます

フォトカルチャー倶楽部最新レポート 「ひとつが繋がる、写真でつながる」

フォトカルチャー倶楽部では、今年もGサミット写真展を開催。全国のグランプリ作品が一堂に会する写真展に足を運んでみてはいかがですか

Gサミット2014を見にきませんか

8月7日(土)～6月27日(金) 東京 日比谷公園「かどりの1777」

桜写真のお手本帖

『フォトコンライフNo.57』2014年春号 3月10日発売 定価:本体1,340円+税



写真:高橋俊樹

特集 「桜写真のお手本帖」 『フォトコンライフ』巻頭特集は、テーマに沿って写真家がさまざまなシーン別の撮り方を細かくレクチャー。今回は「桜の撮り方のコツ」が学べます

みなさんもFacebookグループに参加してみませんか？



松延健児(まつのぶけんじ)
PCC参事、「日野原重明のわくわくフェイスブック」の執筆協力、各地でシニア向けFacebook入門講座の講師を務め、優しい指導方法に定評がある。4月に新刊Facebook入門書発売予定

PCCではFacebook上でも写真のつながりを大切にしようと「Facebook PCC全国交流グループ」(以下、Facebookグループ)を立ち上げました。ここではさまざまなイベントを開催。PCC会員限定でご覧いただけるページなので、写真好き同士が安心して交流できる場になっています。写真投稿、毎週のコンテスト、コメント交流など全国の会員さんが地域や時間を超えて楽しんでいます。あなたもPCC会員になって、Facebookグループに参加しませんか。

TOPIC 3
つながる 広がる
写真の輪

クリックして参加



Facebookグループのここがオススメ!

1

自分の写真にコメントがもらえる

Facebookグループでは、自分の写真が投稿できたり、自分の写真にコメントがもらえたりします。いつもは身近な人しか見えてもらえないあなたの作品も、多くの人に見てもらえます。また、グループメンバーからコメントがもらえれば、より写真を楽しめること間違いなし!毎週投稿された写真でフォトコンテストを実施しており、「いいね!」数の多い人がコンテスト入賞作品として発表されます。

Facebookグループのここがオススメ!

2

全国の人と交流ができる

たとえば、電車や飛行機を乗り継がないと会えない遠い地域の写真仲間とでも、Facebookグループでつながっていれば、いつでもどこでも近況を確認できます。さらに、会ったことがない人でも、その人の作品を見たり、コメントでやりとりしたりすれば、全国の写真好きと交流できます。仲間の作品を見ることは、自分の写真の幅を広げる「学びの場」になります。



Facebookグループのここがオススメ!

3

撮影地の「旬」な情報が手に入る

写真を趣味にする人ならば、お目当ての地域の花の開花状況や見頃の時期などの「旬」な情報をいち早く手に入れたいところ。Facebookグループに参加していれば、全国のメンバーの投稿を頼りに、自分が撮影しに行きたい場所の最新情報が確認できることもあります。



Facebookグループ参加の第一歩はFacebookへの登録から。

Facebookへの登録方法が分からない方は……

イベントに参加して登録方法をマスター

日時:5月17日(土)
10:00~12:00
登録から操作まで解説
「さあ始めようFacebook 挑戦編」
※Facebookをこれから始める方対象
講師:松延健児
場所:PCC事務局(新宿)
参加費:各PCC会員2,500円、一般4,000円

自宅で登録方法をマスター

松延さんの著書「大きな字でわかりやすい Facebook入門(仮)」(技術評論社)が4月に発売予定。大きな文字で読みやすく、Facebookをはじめて使う人にも分かりやすいFacebook入門書です。自宅でFacebookを始めようと思う方におすすめです。



日本人には欠かせない年始のご挨拶でコンテスト

PCCが後援している年賀状普及協議会では、年賀状の大切さや面白さを伝えるために、今年も「写真年賀状コンテスト2014」を開催。

アイデアいっぱいの年賀状を約3920点もご応募いただきました。そして、グランプリに輝いた作品は明るい未来を感じさせるものでした。

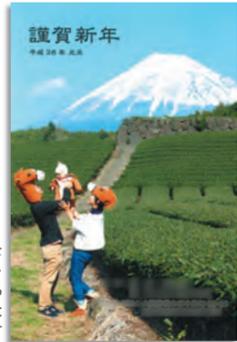


「写真年賀状」大賞

吉田慎二さん(応募者 杉山雅彦さん)
完成度の高いファミリー写真年賀状です。2014年が赤字で隠れているなど、文字のレイアウトもおしゃれです。広告写真をつくるチームでつくったような年賀状のクオリティの高さを感じました

グランプリ

荒木啓介さん
家族と富士山まで道が繋がっているような構図。ふたりに赤ちゃんを支えているポーズと笑顔は家族の明るい未来を象徴するような写真です。見た人の気持ちがいっぱい明るくなるような、まねしたくなる年賀状です



企業賞

大野秀雄さん、勝田純子さん、木方夏樹さん、酒井隆志さん、楽々朝光さん、清水智弘さん、田中徹さん、野口義久さん、原田大史さん、福盛田弘さん、松澤英治さん、矢島陽子さん、吉川芳則さん

「WOW!感」賞



草木鉄平さん



河波智子さん



浦田航介さん

「現在感」賞



田邊真也さん



表野香奈子さん



大下悠里さん

「言祝ぎ感」賞



中島豊晴さん



柴川 誠さん



田原央子さん

「今」が「一瞬」で伝わる、伝える

「あなたも」誰でも楽しめるを多くの人に伝える PCCフォトインストラクターになりませんか



課題制作もあり、濃密な4ヶ月に

PCCでは、「写真を喜びとする人を増やし、ともに絆を広げ、その楽しさを深める」というビジョンのもと、PCCフォトインストラクターが写真を楽しむ知識を伝えています。あなたも写真を「誰でも楽しめる」ように楽しみ方や知識を伝えるPCCフォトインストラクターになりませんか。今回のフォトインストラクター認定講座は愛知・大阪で開催。受講資格はPCC会員であれば誰でもOK。今回は全4回の講座で専門用語を使わない教え方や作品講評の方法を学びます。講座を受講後、ナビゲーターの総合判定により「フォトインストラクター」の認定の可否が判定されます。認定後は、フォトインストラクター名刺をプレゼント。詳しくはPCCホームページをご覧ください。

PCCフォトインストラクター認定講座 2014年度開講予定

会場	名古屋市内	会場	大阪市内
5月24日(土)	10:00~12:00(撮影) 13:00~17:00(座学)	5月25日(日)	10:00~12:00(撮影) 13:00~17:00(座学)
6月14日(土)	10:00~12:00(撮影) 13:00~17:00(座学)	6月15日(日)	10:00~12:00(撮影) 13:00~17:00(座学)
7月19日(土)	13:00~17:00(座学)	7月20日(日)	13:00~17:00(座学)
8月23日(土)	13:00~17:00(座学)	8月24日(日)	13:00~17:00(座学)

●受講料:39,000円 ●お申し込みは、お電話またはウェブから
●定員:20名 TEL 03-3356-3552(平日10-18時)

講座を受講した方からは「回数を重ねるごとに人前で話すときに、リラックスして力を抜いて話せるようになった」などの声をいただいております。あなたも写真の楽しさを伝えるフォトインストラクターを目指してみませんか。

TOPIC 6 全国の”すごい”作品たちに出会えます 写真グランプリ「Gサミット」 を見に東京に来ませんか？

全国のグランプリ作品が一堂に集結する写真展、「Gサミット」。今年からはじめて日本フォトコンテスト協会(JPO)が主催します。多くの写真ファンにすばらしい作品を見ていただきたいというPCCの意思を引き継ぎ、JPOがより盛大にすごい作品たちを集めます。



環境フォト・コンテスト2013 環境大臣賞/環境フォト大賞「飛躍」若杉元さん

「こんな撮り方があったんだ」
「こんな撮り方があったんだ」
「こんな撮り方があったんだ」

今年、JPOが主催するのは、初めてのGサミット。JPOでは、展示された作品を見て、少しでも写真ファンにフォトコンテストを身近に感じてもらうべく、PCCの意思を引き継ぎ開催します。グランプリ作品を見て、「こんな撮り方があったんだ」



世羅高原ひまわりフォトコンテスト2012 金賞「元氣全開」高橋良博さん

見て、学べて、出会う場に

Gサミットとは、全国のフォトコンテストのグランプリ(最高賞)作品だけを集めた写真展です。グランプリを受賞した作品は、いったいどのような作品なのか、全国をめぐらざとも、東京・日比谷でご覧いただくことができます。過去、来場した方からは「こんな写真展、見たことない」「ぜひ来年も実施してほしい」という声もいただきました。



第46回キャンノンフォトコンテストグランプリ「陽光」渡辺和幸さん

「こういう場所です撮ったみたい」と感じて、「学び」や「感動」をお持ち帰りいただけるような写真展を目指しています。ご来場いただく方には、写真の楽しさをより感じていただけるような、そんな時間を過ごしていただけるはず。



JPOのホームページもチェック。第2回で展示した作品をご覧いただけます

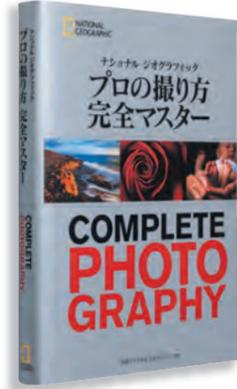
6月は東京・日比谷で全国のグランプリ作品を見ませんか

第3回 写真グランプリ「Gサミット」2014 写真展

開催日:6月7日(土)~27日(金) 9:00~17:00
(日曜休館、最終日は15:00まで)
開催場所:日比谷公園(東京)「みどりのプラザ」
入場料:無料
詳しくは [日本フォトコンテスト協会](#) [検索](#)



TOPIC 4 プロの撮り方が学べる講座 日経ナショナル ジオグラフィック フォトアカデミー



講座を受ければ本への理解もより深まります

「プロの撮り方 完全マスター」をテキストに解説。ナショナル ジオグラフィックの傑作写真はどのように撮られたか、個性的な写真の撮り方が分かります

「ナショナル ジオグラフィック」の迫力ある写真の数々を見ながら、一日で「被写体・構図・光・露出」の理解が深まる「フォトアカデミー」プロの撮り方「完全マスター」が5月に開催されます。本講座は、日経ナショナル ジオグラフィック社より出版されたプロ写真家のバイブル「プロの撮り方 完全マスター」をテキストに解説。プロ写真家の五十嵐太二さんが具体的な例をもって写真を撮るためのポイントをわかりやすく解説してくれるので、1回の講座で格段にセンスアップが期待できます。

迫力ある写真を見ながら理解を深める

- 開催日時:5月10日(土)13:30~16:30(定員70名)
- 会場:東京・大手町 日経カンファレンスホール
- 受講料:PCC会員4,000円 一般5,000円
テキストとして「プロの撮り方 完全マスター」(本体4,600円+税)を各自ご購入の上ご持参ください。お持ちでない場合は会場でもご購入いただけます
- 講師:五十嵐太二氏(日本写真芸術専門学校講師)
<http://fotopus.com/prophotos/jp/gallery/photographer/taiji-igarashi/profile/>

- お申し込み方法
P35の方法でお申し込みください
電話 03-3356-3552(平日10:00~18:00)
当セミナーの申し込みのための個人情報はPCCが取得したうえで、日経ナショナル ジオグラフィック社に第三者提供します。以後、個人情報は日経ナショナル ジオグラフィック社の個人情報保護方針により管理されます

共催:日経ナショナル ジオグラフィック社、NPO法人 フォトカルチャー倶楽部



写真好きだからこそ伝えられる地元の良さがあります

前号に続いて募集します
旅の専門誌「旅行読売」ではPCCとコラボして「現地カメラマン」を募集しています。今回はその募集の第2弾。現在も多数ご応募いただいておりますが、まだまだ皆さんのお力が必要で、いろいろな撮影を楽しんでいる写真愛好家だからこそわかる現地のよさや臨場感を伝えませんか。現地カメラマンは、雑誌記者に同行して取材先の風景や料理などを撮影、現地の様子が伝わ

TOPIC 5 「旅行読売」のニラ企画(続) あなたも現地カメラマンになれるチャンス!

「私でもいいのかしら」と不安に思っている方も、まずはご応募を。風景写真を2Lで5枚プリントしたものと、PCCホームページからダウンロードした登録シートに必要事項をご記入の上、PCCまでお送りください。その後、旅行読売出版社より採用者へ契約締結等のご連絡をさせていただきます。詳しい応募方法は、PCCホームページでご案内いたします。ご確認の上、ご応募ください。

風景写真を2Lでプリントしてください



47都道府県の各地を紹介するため、まだまだ募集中です!詳しくはPCCホームページ



写真が好きで旅行が好きなら、大歓迎。記者に同行して現地の様子を撮影しませんか



旅の専門誌にあなたの写真が載るチャンス!

春は撮りたい被写体がたくさん。レベルアップのチャンスは撮影イベントにあり!

PCCの撮影イベント

PCC会員になると割引価格で受講できます 詳しくは→P35

電次ページも、イベントいっぱい

東京 新宿御苑の達人に学ぶ 新宿御苑の四季撮影講座-バラ編-

平日開催

木村正博先生 5月の中旬の新宿御苑は緑が萌え出し、春バラや珍しいユリノキも次々と花開きます

5月23日(金) 新宿御苑 13:00~15:30
1年間かけて桜、バラ、紅葉、温室を撮影して新宿御苑を堪能してもらう撮影会の第3回目です



撮影:木村正博

東京 画面構成を考えながら被写体を見つけ、デジタルカメラで撮る デジカメマスター

種清 豊先生 漠然とした自然風景をどのような画面構成にするか考えながら撮影しよう

4月13日(日) 「都内に残る自然を探そう」 目黒自然教育園 10:00~12:00

四季折々の自然、池など散策路を歩きながら撮影します。別途入園料がかかります



撮影:種清 豊

5月11日(日) 「文豪の街本郷を散歩する」 本郷三丁目 10:00~12:00

多くの文豪が住んだ本郷界隈。歴史と照らし合わせて被写体を探してみましょう



撮影:種清 豊

6月8日(日) 「作品講評会&プリントレビュー」 新宿文化センター 14:00~16:00

日頃撮影されている作品へのアドバイスや、普段撮影している疑問に思うことを解決します

撮影:種清 豊

千葉 やさしく基本の「キ」が学べる デジタルカメラはじめての一步

吉田 巧先生 オートでしか撮ったことがない人も自分でカメラを設定して撮れるようになります

4月20日(日) 「写真がもっと好きになる!デジカメの基礎講座」 そごう柏店6Fおしゃれルーム 14:00~16:00

知って役立つモードの設定や機能の使い方を学びましょう

5月25日(日) 「撮影実習」 清水公園 10:00~12:00

現地でのカメラの設定や各モードの使い方、構図や光の使い方が分かります。入園料が別途かかります



撮影:吉田 巧(コンパクトカメラで撮影)

6月22日(日) 「作品講評とまとめ」 そごう柏店6Fおしゃれルーム 14:00~16:00

撮った写真を持ち寄って講評会をするので、ほかの人の作品も見て学べます

撮影:吉田 巧(コンパクトカメラで撮影)

東京 これをやっていると画像編集の外れ かんたんカラーマッチング講座

イメージビジョン(株) 廣田充孝先生 カラーマッチングで写真のプリントがもっと楽しくなります

4月27日(日) PCC事務局(新宿) 13:00~15:00
写真のプリントを向上するためのカラーマッチング。専用の機材を使い、簡単にカメラの液晶とパソコンのモニターの色を合わせることでプリントまで向上します



東京 事前講習で学び、撮影を楽しみ、講習会でレベルアップ これで納得撮影術

服部考規先生 望遠レンズと開放絞りを駆使して柵やガラスの反射を消して仕上げよう

4月20日(日) 「都心の春・浜離宮を撮る」講習会 新宿文化センター 14:00~16:00

3月23日「都心の春・浜離宮を撮る」の講習会と次回撮影会の事前レクチャー

5月25日(日) 隠れた野生を見つけよう 「動物園の動物を撮る」 多摩動物公園 10:00~12:00

動くもの、じっとしているもの、さまざまな動物たちの表情を写してみよう。入園料が別途かかります



撮影:服部考規

6月22日(日) 「動物園の動物を撮る」講習会 新宿文化センター 14:00~16:00

5月25日「動物園の動物を撮る」の講習会です

東京・神奈川 撮影実習前のレクチャーで被写体を見つける"目"を養う フォトメソッド

岡野清人先生 夜景・夕景は三脚を立ててじっくり撮影してみましょう

4月26日(土) 「バスで行く川崎工場夜景撮影会」 川崎駅集合 18:00~21:00

川崎市の観光協会とのコラボによる工場夜景のバスツアーです。別途バス代がかかります



撮影:岡野清人

5月24日(土) 「豪華客船の出港風景を撮る」 横浜大根橋 17:00~19:00

豪華客船サン・プリンセスの出港風景を横浜の夜景とともに写すテクニックを学べます



撮影:岡野清人

6月29日(日) 「こんな撮り方も!マクロ撮影テクニック」 新宿文化センター 10:00~12:00

簡単なライトのセッティングとマクロレンズを使っていろいろな被写体を撮影してみましょう ※当日はマクロレンズの貸し出しもあります



撮影:岡野清人

室内で撮影知識などを養う講習会 平日開催 初心者の方におすすめ

その一瞬が価値ある1枚に。感動を伝える方法



皆さまの作品発表を応援しています。

365日フォトコンテスト 2014 春夏

3/15~7/15 7/15~11/15 11/15~3/15

募集期間 2014年 7月15日(火) まで



スマホ作品大募集中!

テーマは自由



スマホコースはどんな写真を応募したらいいの?
1) スマホ、ケータイを持っていたから撮れた家族、友人の写真
2) 身近にある小さな発見
3) アプリで加工したアートな写真 などなど自由にご応募ください。

365日フォトコンテスト2014 [春夏] 2014年7月15日(火)まで

[応募方法]カメラのキタムラ店頭で受付(郵送でも応募いただけます)

[プリントサイズ]

[腕自慢コース]中・上級者向け	[腕だめしコース]ビギナー向け	[スマホコース]
6切・W6切・A4・4切・W4切	はがきサイズ・2L・6切・W6切・A4	はがきサイズ・2L・6切・W6切・A4
●風景部門	●自然部門	●旅部門
●人部門	●ペット&動物部門	●テーマ:自由
●自由部門	●子ども&赤ちゃん部門	●自由部門

お問合わせ先 カメラのキタムラ お客様なんでも相談室 050-3116-8888

主催:NPO法人 フォトカルチャー倶楽部
特別協賛:カメラのキタムラ、富士フイルム イメージングシステムズ株式会社
後援:一般社団法人 日本フォトコンテスト協会

詳しくは

365日フォトコン 検索

賞金・賞品 総額 500万円以上

PCC会員公募展

第4回 なかま展

[応募締切] 2014年 6月30日(月)(必着)

いつかは写真展をやってみたいと思っている方、今年の夏に挑戦してみませんか。参加費5,000円で、4切プロプリントの展示ができます。展示作品は展示後にプレゼント。お早めにご応募ください。

展示期間・場所

2014年8月7日(木)~8月20日(水)
フォトギャラリーキタムラ東京・新宿

応募方法

展示を希望される作品データをCD-R等のメディアに入れ、紙に(1)会員番号、(2)氏名(フリガナ)、(3)作品タイトル、(4)イベント参加・不参加をご記入の上PCC事務局へお送りください。応募多数の場合は審査の上、展示作品40点を決定します。入選された方には7月上旬にお知らせいたします。必要画素数 4切:3000×3602(1000万画素相当)

応募先

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-28-20-205
NPO法人 フォトカルチャー倶楽部「なかま展」係

参加費 5,000円

応募郵送時、郵便定額小為替を同封または下記へ郵便振込み

<振込先>

口座記号:00110-5 口座番号:263276

加入者名:NPO法人フォトカルチャー倶楽部

※入選されなかった場合は返金いたします。応募メディアは返却いたしませんのでご了承ください。昨年の「なかま展」に参加された方もご応募いただけます。応募はおひとり様1点に限らせていただきます。



日頃撮影している写真の感想をもらい合うのも楽しみのひとつです



板見浩史氏による 作品講評&懇親食卓

8月7日(木) 16:00~20:00

参加費 4,000円

イベント参加希望の場合は作品応募時に「イベント参加希望」とご記入ください。

大阪・広島・福岡 多彩な春本番! レンズの使い方実践講座
実践! 被写界深度を活かしたレンズワーク **コース名▶ レンズ**

田邊和宜先生
レンズの性能を最大限に引き出す方法をお教えます

6月22日(日) 長居植物園(撮影会) 10:00~12:00
大阪写真会館(セミナー) 14:00~16:30

5月25日(日) 広島城中央公園(撮影会) 10:00~12:00
アステールプラザ(セミナー) 14:00~16:30

4月26日(土) 福岡市立植物園(撮影会) 10:00~12:00
中央市民センター(セミナー) 14:00~16:30

撮影会とセミナーを両方参加されると1,000円引きになる上達応援キャンペーン中



撮影: 田邊和宜

写真で困ったことはなんでも聞いてください **講師陣** あいうえお順

渡邊翔一先生	吉田巧先生	服部考規先生	辻谷 顕先生	種清 豊先生	田邊和宜先生	佐々木 勇先生	齋藤 誠先生	小林弥生先生	倉本雅史先生	木村正博先生	川瀬陽一先生	岡野清人先生	岩田賢彦先生
みんなで目の前の光景を楽しめる時間づくりを目指します	デジタル野鳥写真家の助手を経てフリーに。初心者大歓迎	竹内敏信氏の助手を経てフリーに。写真雑誌等で活動中	風景や生き物を中心に撮影。じっくり作品づくりをします	竹内敏信氏のアシスタントを経てフリーに。街スナップを撮影中	PCC設立時から講師を担当。福岡、大阪を中心に活動	デジカメの楽しさを多くの方に伝えたい。初心者大歓迎	京都で印象的な光を追いかけ撮影しています	ハンコンも得意。好きな被写体は生き物です	広島を拠点に活動。風景やポートレートが得意	四季の花々に出会える新宿御苑のプロフェッショナル	「被写体をどう表現する」をモットーに作品づくりをしています	被写体の雰囲気や切り撮る、情景演出写真家	こころ優先で作品のレベルアップをお手伝いします

お申し込み～お申し込み完了までの流れ

STEP 1 電話、FAXまたはホームページから参加登録します

STEP 2 開催10日前までにお近くの郵便局で参加費をお振り込みください

STEP 3 正式にお申し込み完了です

開催約1週間前に、受講チケットが届きます
※ウェブでお申し込みの方には、メールが届きます

お申し込みのときには「コース名」をお伝えください

大阪 実習で学ぶ、作品講評で学ぶ。写真から作品へレベルアップ
「実習で学ぶ撮影術」
カメラの設定やレンズを駆使して、被写体を撮影してみよう

お申し込み方法は3通り

お電話でお申し込みの方は
PCC事務局
Tel **03-3356-3552**
でお申し込みください
受付時間 10:00~18:00(土日祝は除く)

FAXでお申し込みの方は
下記申込書にご記入の上
PCC事務局
Fax **03-3356-3559**
にお申し込みください

ホームページからお申し込みの方は
PCC会員限定
<http://npopcc.jp>
または
フォトカルチャー倶楽部 検索
ウェブ登録してお申し込みください

2014年「セミナー・撮影会・写真教室」参加申込書 このページをFax用紙としてお使いください

1.開催日・コース名 () () () ()
2.開催日・コース名 () () () ()
3.開催日・コース名 () () () ()
4.開催日・コース名 () () () ()

お名前 _____ 住所 _____ 都道府県 _____

該当するものを○で囲んでください
フォトカルチャー倶楽部会員様 (会員番号 _____) 一般の方 (_____)

電話番号 (_____) 携帯電話番号(お持ちの方はご記入ください) (_____)

(注意事項) ※当日、現地で参加費お支払いはお受けできません※当日、飛び入り参加はお断りします※欠席の場合は必ずご連絡ください。尚返金はできませんのであらかじめご了承ください※振り込み手数料はお申込み者負担となります
(個人情報取扱いについて) NPO法人フォトカルチャー倶楽部(以下当法人といいます)は、イベント申込みの際にいただいた個人情報について、お客様との連絡や撮影に関わるご案内に利用させていただきます。

大阪 大阪エ工とご探検隊Ⅱ
ちんちん電車で行こう! **コース名▶ エ工とご**

田邊和宜先生 身近な被写体の見つけ方、スナップのコツを伝授

4月19日(土) 天下茶屋周辺 14:00~16:30
5月17日(土) 堺港周辺 14:00~16:30
6月15日(日) 浜寺公園周辺 14:00~16:30

天王寺駅集合。ちんちん電車に乗って、いろいろな街を探検しましょう。別途電車賃がかかります



撮影: 渡邊翔一(講座風景)

大阪 実習で学ぶ、作品講評で学ぶ。写真から作品へレベルアップ
実習で学ぶ撮影術 **コース名▶ 実習**

岩田賢彦先生 カメラの設定やレンズを駆使して、被写体を撮影してみよう

4月5日(土) 「露出補正とホワイトバランスで決める桜撮影術!」
大阪近郊 10:00~12:00

露出補正とホワイトバランスを駆使した桜撮影を学びましょう。「フォトライフ四季」「ソコシリ」(→P10)連動企画



撮影: 岩田賢彦

5月31日(土) 「作品講評と座学」
大阪写真会館 14:00~16:30
撮ったら見せよう! 魅せる写真になるための秘訣をお教えます

6月28日(土) 「表情がおもしろい! 日本猿の撮影にチャレンジ」
いわたやまモンキーパーク 10:00~12:00

望遠レンズを使って、日本猿のユニークな表情を捉えよう
※当日はレンズの貸し出しもあります



撮影: 岩田賢彦

京都 「1日だけでも撮影イベントに参加したい!」そんな願いにお応えて
ワンデイ撮影塾 **コース名▶ ワンデイ**

4月7日(月) 「京の桜を撮る」
渡邊翔一先生 勸修寺 10:00~12:00

広角、標準、望遠、それぞれのレンズが得意な表現を伝授。この時期ならではの桜を撮りましょう。別途拝観料がかかります



撮影: 渡邊翔一

5月10日(土) 「新緑の瀑と酒蔵町を撮る」
齋藤 誠先生 伏見周辺 10:00~12:00

新緑が美しい水路と酒蔵の町を歩きます。酒蔵が溶け込んだ趣ある街並みが撮影できます



撮影: 齋藤 誠

5月17日(土) 「ノスタルジック花折街道を撮る」
辻谷 顕先生 豊能町周辺 10:00~12:00

まるでジブリの世界のようなつかい光景が広がり、魅力的な被写体がたくさんあります



撮影: 辻谷 顕

6月7日(土) 「夏の花を撮る」
川瀬陽一先生 京都府立植物園 10:00~12:00

絞りのコントロールでイメージ通りの作品を作りましょう。別途入園料がかかります



撮影: 川瀬陽一

愛知 今までの作品により磨きをかける
デジタルカメラ レベルアップ術 **コース名▶ レベルアップ**

佐々木勇先生 絞り・露出・レンズワークを使って、何をどのように撮るかの技術と撮影手順を習得

4月12日(土) 「被写界深度と光を極めよう」
日本ガイシフォーラム 13:30~16:00

撮影距離と絞り具合、光を極める露出補正が身に付きます

5月10日(土) 「レンズワークの基本」
日本ガイシフォーラム 13:30~16:00

被写体の見せ方でレンズをどう使い分けるのかを学びましょう

6月7日(土) 「新緑の名古屋城を素敵に撮ろう」
名古屋城 10:00~12:00

被写体を如何に見せるべきかを城内の撮影ポイントごとに分かりやすく説明します



撮影: 佐々木勇

愛知 「フォトライフ四季」「ソコシリ」(→P10)連動企画
実習で学ぶ撮影術 **コース名▶ 実習**

岩田賢彦先生

4月19日(土) 「露出補正とホワイトバランスで決める花の撮影術」
東山動物園 13:00~15:00

P10-11で紹介した花の撮影方法を実際にお教えます。別途入園料がかかります



撮影: 岩田賢彦

広島 デジタルカメラの使い方と撮影する楽しさを体感できる初心者向け講座
フォト・ウォッチング **コース名▶ ウォッチング**

作品づくりに必要な被写体の見つけ方、表現が身につきます

4月5日(土) 「春の宮島撮影散策」
倉本雅史先生 宮島 10:00~12:00

春のイメージをテーマに花や街並みなど被写体にこだわってじっくり撮影しましょう



撮影: 倉本雅史

5月11日(日) 「楽しい動物写真」
小林弥生先生 安佐動物公園 10:00~12:00
倉本雅史先生

動物をテーマに望遠レンズの特徴を生かした撮影術と作品表現にチャレンジしてみましょう。別途入園料がかかります



撮影: 小林弥生

6月15日(日) 「作品講評」
小林弥生先生 西区文化センター 10:00~12:00
倉本雅史先生

4月5日と5月11日の撮影会の作品講評と次の撮影会に向けての事前講習です

福岡 実習で学ぶ、作品講評で学ぶ。写真から作品へレベルアップ
実習で学ぶ撮影術 **コース名▶ 実習**

岩田賢彦先生 花の撮影は露出補正とホワイトバランスの設定が決めます

4月6日(日) 「露出補正とホワイトバランスで決める花の撮影術」
海の中道海浜公園 13:00~15:00

「フォトライフ四季」「ソコシリ」(→P10)連動企画。別途入園料がかかります



撮影: 岩田賢彦

6月29日(日) 「作品講評と座学」
福岡市内 14:00~16:30

撮ったら見せよう! 魅せる写真にするための秘訣をお教えます

今日でも楽しく写真の稽古

あなたの地域にもあります。おすすめの写真展・写真教室。
少し遠出してイベントに越境参加しませんか

東北

苦手な部分を改善して
写真を楽しむお手伝い

写真教室 「フォトクーラント」

【参加費】3,000円～
【日時・場所】ご相談により出張もあり
(料金は要相談)
【お問い合わせ】
info@photo-courante.com
☎ 090-2273-3942



北海道

北海道の自然、観光、スポーツ、日常生活、などを撮影した写真展です
第65回アサヒ北海道写真展

【日時】4月9日(水)～4月13日(日)
【会場】札幌市教育文化会館 4階ギャラリー(北海道札幌市中央区北1条西13丁目)
【料金】無料
【お問い合わせ】☎ 011-231-5023

関東

イベント時には作者自身が解説します

柳木昭信写真展 「地球・氷河圏」

【期間】2月11日(火・祝)～3月30日(日)
【会場】相鉄ギャラリー
(神奈川県横浜市泉区緑園4-3-28「相鉄文化会館」4階)
【料金】無料
【お問い合わせ】☎ 045-813-1515



アラスカ コロンビア氷河

世界130カ国を取り扱うユーラシア旅行社の
無料イベントにご招待します

「旅の達人が語る 世界の絶景」

【日時】4月12日(土) 14:00～16:30
【会場】日本科学未来館7F
(東京都江東区青海2-3-6)
【内容】探検家・関野吉晴氏の講演や
迫力のダンス、抽選会など
【作品募集】絶景フォトコンテスト
詳細は<http://www.eurasia.co.jp/>
【予約・お問い合わせ】☎ 03-3265-1691



マチュピチュ(ペルー)

中国・四国

代表作のSELF AND OTHERS
全60点を一挙公開

「牛腸茂雄 SELF AND OTHERS」

【期間】1月28日(火)～4月6日(日) 9:00～17:00(入館は16:30まで)
【休館日】月曜日、2月21日(金)～26日(水)
【会場】山口県立美術館(山口県山口市龜山町3-1)
【料金】一般・300円 学生・200円 18歳以下および70歳以上・無料
【お問い合わせ】☎ 083-925-7788



「牛腸茂雄 SELF AND OTHERS」

九州・沖縄

自分の影の写真や人間の写真を組み合わせた
大型の壁面アートで写真コラージュ作品の展示会です

岩橋格 フォトファンタジー展 「ヒトの万華鏡」

【期間】3月25日(火)～3月30日(日)
9:00～18:00(金曜・土曜は20:00まで)
【会場】沖縄県立博物館・美術館 県民ギャラリー1・2
(沖縄県那覇市おもろまち3丁目1番1号)
【料金】無料
【お問い合わせ】☎ 098-941-8200

中部・東海

オアシス21のシンボル「水の宇宙船」の
ライトアップがテーマです

第2回 オアシス21水の宇宙船 ライトアップフォト コンテスト入賞作品展

【期間】3月24日(月)～3月31日(月)(予定)
【会場】オアシス21
(愛知県名古屋市東区東桜1-11-1 ファッションテナント前)
【料金】無料
【お問い合わせ】☎ 052-962-1011



関西

美を追求した写真家
入江泰吉の美意識に迫ります

入江泰吉写真展 「花と造形」

【期間】3月21日(金・祝)～6月29日(日)
9:30～17:00(月曜休館)
【会場】入江泰吉記念奈良市写真美術館
(奈良県奈良市高畑町600-1)
【料金】一般・500円
高校、大学生・200円
小、中学生・100円
【お問い合わせ】☎ 0742-22-9811



「入江泰吉 花と造形」展より

必要なアイテムを厳選した 非常持ち出しセット

ALSOK 緊急キット

災害等の緊急時にすぐ必要となるものを詰め
込んだ非常持ち出しセットです。被災地でライ
フラインの復旧までの1日を過ごすために、最
低限必要なアイテムを厳選しました。コンパ
クトで頑丈な箱に梱包したので、保管スペースを
とりません(化粧箱サイズ:W247・H99・
D180mm)。セット内容は、携帯用ナップザック、
マジックライス×2、備蓄用保存水×2、ガーデ
ィンマスク、エマージェンシーブランケット、セ
ーフティライト×2、滑り止めつき軍手、簡易ト
イレです。長期保存(4年)もできるので安心です。
価格は3,980円十税。総合警備保障株式会
社横浜北支社営業担当・内田が承ります。



総合警備保障株式会社
横浜北支社
045-473-2661
<http://www.alsok.co.jp/> 内田 浩さん

緊急時に
役立ちます

開局60周年記念の ラジオのテーマパーク

第7回ニッポン放送ラジオパーク in日比谷 2014

ニッポン放送がつくるラジオのテーマパーク「ラ
ジオパーク」。ニッポン放送のファン感謝デーは、
ゴールデンウィークの2日間に実施。今年はニ
ッポン放送開局60周年で設置されたさまざま
なブースやフードコートで例年以上にお楽し
みください。

【実施時期】
2014年4月26日(土)
～27日(日)
【場所】日比谷公園
【料金】無料

株式会社 ニッポン放送
営業促進部
03-3287-7543
<http://www.1242.com/>

ニッポン放送の
ファン感謝デーを
お楽しみください



中村 宗一郎さん

春に撮影を楽しむとおきのネタ

日比谷公園は、都会のオアシスです。新緑
の中、たくさんの方がイベントに訪れ、笑顔
があふれています。ぜひ、素敵な笑顔を写し
てください。

東京駅好アクセス 炭酸泉浴場のあるホテル

スーパーホテルLohas東京駅八重洲中央口

2013年8月グランドオープン!東京駅近くであ
りながら浴場があるのがうれしい。江戸の粋を
デザインしたホテル。太陽光発電や地中熱を
利用し、環境保全にも配慮しております。



JR「東京」駅八重洲中央口
より徒歩3分

東京での
撮影拠点に
いかがですか。
炭酸泉で疲れを
癒してください。

スーパーホテルLohas
東京駅八重洲中央口
03-3241-9000
<http://www.superhotel.co.jp>

西尾 支配人

PCC 賛助企業・団体の旬情報発信所

知っ得! 各社のお客様相談窓口

Canon キヤノン お客様相談センター
コンパクトデジカメ
☎050-555-90005
デジタル一眼・交換レンズ
☎050-555-90002

Nikon ニコン カスタマーサポートセンター
☎0570-02-8000

FUJIFILM フジフィルム FinePixサポートセンター
☎050-3786-1060

リコーイメージング お客様相談センター
☎0570-001313

OLYMPUS オリンパス カスタマーサポートセンター
☎0120-084215

RICOH リコー お客様相談センター
☎0120-000-475

SONY ソニー お客様ご相談センター
製品問合わせ
☎0120-000-488
使い方問合わせ
☎0120-333-020

Panasonic パナソニック LUMIX ご相談窓口
☎0120-878-638

キタムラグループ お客様なんでも相談室
☎050-3033-0066 (PCC会員専用)

*受付日時はそれぞれ異なります。
詳しくは各社ホームページをご確認ください。

カメラのキタムラのお客さまが内閣総理大臣賞を受賞

全国公募「第17回総合写真展」上位入賞者発表

(公財)国際文化カレッジが主
催する「総合写真展」は、全国
規模の公募展です。昨年12月
に開催された17回展では、カメ
ラのキタムラのお客さまも多数
出品して多くの方が上位入賞
を果たされました。ただ今18回
展の作品を募集中です。今年
は皆さんもぜひご参加くだ
さい。



第17回総合写真展 内閣総理大臣賞
「アートペインター」石川義紀(福島県)

【全国公募】 第18回総合写真展

詳しい内容がわかる出品要項
を無料で差し上げます。ご希望
の方は、キタムラ店頭のリフ
レットかお電話でご請求くだ
さい。
【請求締切】6月10日(火)まで

公益財団法人
国際文化カレッジ
☎03-3360-1224

カメラのキタムラご利用で今回、上位入賞された方々

【内閣総理大臣賞】 石川義紀(福島県)
【東京都知事賞】 佐々木 隆(大阪府)
【準大賞】 梅村 二三男(岩手県)
【文部科学大臣賞】 大塚雅洋(福井県)
【大賞】 野崎洋子(新潟県)

楽しみながら新しい写真を追求していく **特選**



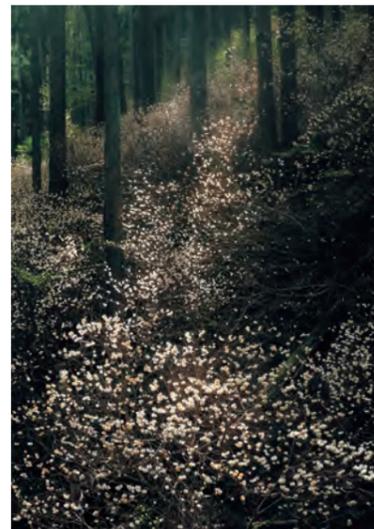
「高原の風」

江口誠さん（熊本県）



「ポピー」

染谷とし子さん（千葉県）



「芳し」

河又昭男さん（栃木県）



「かたらい」

長岡曉さん（大阪府）



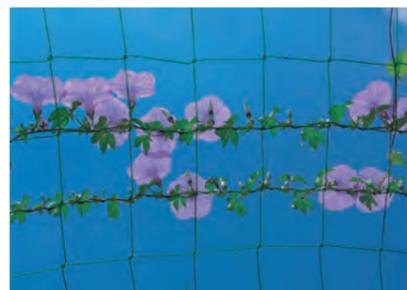
「ファミリー」

山縣直幸さん（広島県）



「南国の風をのせて」

太田有美子さん（神奈川県）



「天空の朝顔」

奥中紀一さん（滋賀県）



「ひまわりの万華鏡」

千田公一さん（神奈川県）



「初夏模様」

上島信一さん（長野県）

写真芸術の振興と福祉支援



秋山庄太郎
1920年、東京生まれ。紫綬褒章、勳四等旭日小綬章受章。2003年に写真賞選考会場で倒れ、急逝。享年82。

「全国公募。プロ・アマ不問。名前だけの協賛・後援は不要。副賞に現金なし。審査は自分だけで公平に行う」。秋山庄太郎氏がそう提案して2002年秋にスタートした『秋山庄太郎「花」写真コンテスト』。花の撮影をライフワークとし、「花行脚」をしながら写真愛好家たちと交流を重ね、「アマチュア、畏（おそ）るべし」との名言を残した。2003年に急逝した秋山庄太郎氏に代わり、2009年からは秋山庄太郎写真芸術館の全面協力を得てフォトカルチャー倶楽部が後援。今回で11回目を迎えるこのコンテストは、「写真芸術の振興」と「福祉支援」という秋山庄太郎氏の志が今も受け継がれている。

グランプリ 木を擬人化したタイトルに説得力



「今年も来たなア」

荻山清和さん（岐阜県）

総評：自分なりの切り口で自然をとらえる

被写体に出会った瞬間の「撮りたい！」を大切に

鈴木理策氏
写真家

目の前の状況をどんな写真にするかを先に判断してしまうのか、撮り口や撮影方法がパターン化している気がします。目で見るとカメラで写すものは違います。その差を楽しむために、前後左右に動いたり、光を待ったりフットワークを使ってください。そして、被写体に出会った瞬間の「撮りたい！」という瞬間力を大切にしてください。その力が画面に表われたものが魅力のある写真だと思います。

従来の型や枠、先入観にとらわれずに

上野正人氏
秋山庄太郎写真芸術館館長

過去の入賞作品の追体験をしているような応募作品が多かったのがちょっと残念です。今回からスマホ撮影もOKになったので、従来の型や枠、先入観にとらわれずに楽しく撮っていただきたいと思います。写真芸術はタイトルを含めた総合芸術だと考えているので、グランプリ作品は木を擬人化したタイトルに説得力を感じました。木が人を迎える「出会い」というかたちでとらえている点もおもしろいと思います。

喜びの心を写して帰る、新しい写真の追及を

丹地敏明氏
写真家

グランプリ作品は、毎年同じ場所で真っ盛りの花をつけて待っている、という作者の喜びが表われた素敵な写真です。「今年も来たなア」と、子どもたちと撮影者が同じ気持ちになっているのでしょう。写真撮影で「出会い」は非常に大事です。喜びを感じながらその心を写して帰る、撮影者は常にそういう気持ちで撮ることではないかと感じました。今後は楽しみながら過去にない新しい写真を追求することが求められます。

※順不同

グランプリ・特選
賞品協賛



FUJIFILM Canon Nikon SONY Panasonic
CASIO OLYMPUS RICOH Kenko Tokina

写真芸術はタイトルまで含めた総合芸術 **準特選**



「ラスト・ランナー」
原田妙子さん(岡山県)



「純白の花嫁」
松田夕香さん(兵庫県)



「菊華麗姿」
大矢信吾さん(愛知県)



「かわいい妹です」
皆川功さん(新潟県)



「はじける陽光(紫陽花)」
井村敏也さん(茨城県)



「環境改善」
丸森勝造さん(茨城県)



「春に誘われ」
岩崎潔さん(宮城県)



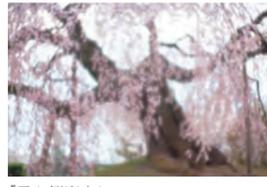
「美しく(つやめく)」
大津秀則さん(青森県)



「ネコヤナギ」
可児芳春さん(岐阜県)



「群に彩り」
宇田裕さん(新潟県)



「垂れ桜幽玄」
池田豊さん(長野県)



「百合の目覚め」
森林美奈子さん(長野県)



「清流に咲く」
阿部立子さん(埼玉県)



「可憐」
小坂明さん(群馬県)



「溪流を飾る」
川田武男さん(栃木県)



「流れにシンクロ」
田宮与四郎さん(栃木県)



「チューリップ畑」
小寺澤啓司さん(兵庫県)



「早春」
塚本元さん(大阪府)



「金色に咲く」
清水三喜男さん(滋賀県)



「フラダンス桜」
佐藤二郎さん(三重県)



「優しさにつつまれて」
館弘美さん(東京都)



「春の歌び」
山本幸子さん(東京都)



「ウィングラス」
中島保子さん(千葉県)



「熊凱草の森」
神久文江さん(埼玉県)



「みい〜つけた」
清水舞子さん(福岡県)



「朝日の中で」
大西展子さん(福岡県)



「秋彩(しゅうさい)の庭」
清家道子さん(福岡県)



「フジのタイムトンネル」
委細哲也さん(福岡県)



「陽春」
谷口晃さん(神奈川県)



「水鏡の精」
繁山高一さん(東京都)



「常夏のマーメイド」
山田信一さん(東京都)



「ダリア」
松本三男さん(東京都)



「決闘」
河野純一さん(鹿児島県)



「花のあるブルージュの水景」
大和遼さん(福岡県)



「花模様」
森田昭代さん(福岡県)



「幽玄の美」
林田弘行さん(広島県)



「溪谷の一輪」
石原義信さん(東京都)



「清楚に咲く」
巻島秀男さん(埼玉県)



「天高く」
塩浜郁夫さん(北海道)



「語らい」
坂巻富志子さん(神奈川県)

※順不同

秋山庄太郎「花」写真コンテスト協賛：秋山写真工房、秋山庄太郎記念芸術文化振興協会、秋山庄太郎写真美術館、秋山庄太郎写真芸術協会、NPO法人 フォトカルチャー倶楽部、有限会社イマジン・アートプランニング、オリンパスイメージング株式会社、カシオ計算機株式会社、カメラのキタムラ、キャンノンマーケティングジャパン株式会社、株式会社ケンコー・トキナー、株式会社新東通信、株式会社スリーノーマン、ソニーマーケティング株式会社、株式会社ニコンイメージングジャパン、パナソニック株式会社、富士フィルムイメージングシステムズ株式会社、マルコム株式会社、リコーイメージング株式会社(敬称略)

※敬称は略させていただきます。

畠山陽子(北海道) 土谷聡志(埼玉県) 伊藤昇司(千葉県)
大道寺市三郎(山形県) 芥川宣行(埼玉県) 赤穂一樹(東京都)
松延洋子(茨城県) 高橋恵子(埼玉県) 宮坂幸輝(東京都)
堀井憲(茨城県) 菊池雄介(埼玉県) 矢島勲(東京都)
松本フミ子(栃木県) 幕田範之(千葉県) 依田淳逸(東京都)

木村和美(東京都) 小柴宗子(神奈川県) 高野格(新潟県) 光田美恵子(愛知県) 国政寛(大阪府) 宮本康雄(岡山県) 木下泰子(福岡県)
渡部貞則(東京都) 上條正博(長野県) 風間ヤヨエ(新潟県) 浅井十像(愛知県) 坂本昭雄(大阪府) 沖山徹(広島県) 村岡都佳子(福岡県)
谷山誠四郎(東京都) 植木勲(長野県) 中林重英(新潟県) 道家晴規(愛知県) 楠本安男(大阪府) 宮下武博(香川県) 首藤儀一(大分県)
鈴木芳江(東京都) 宮島順子(長野県) 田中博子(新潟県) 早川和宏(京都府) 三谷浩(兵庫県) 浅田千代子(高知県) 田辺紀子(大分県)
内藤健一(神奈川県) 渡辺隆(新潟県) 川合久司(岐阜県) 中根敏之(京都府) 入間川明雄(兵庫県) 川島保子(福岡県) 川畑雅代(鹿児島県)

入選

風景や花など個性にあふれた 写真と雰囲気を楽しむ

フォトギャラリーキタムラ東京で楽しいひとときを
少しずつ暖かくなり、新しい季節はもう目の前ですね。フォトギャラリーキタムラ東京・新宿では、今後開催される予定の注目の3展をピックアップ。

今後の予定

第1回 フォトクラブ 瞬彩写真展「瞬光明彩」

2014年3月13日(木)～3月19日(水)

2010年に創立した「フォトクラブ瞬彩」が、初めて写真展を開催します。私たちは写真愛好家を中心に結成した会で、秦達夫先生の指導のもとで、写真技術の向上を図ってきました。今回のタイトルは「瞬光明彩」。四季の自然を楽しんでいただければと思います。



柿の種写真展 「私のお気に入り」

2014年3月20日(木)～3月26日(水)

「柿の種」は柿本完二先生にご指導いただいている写真同好会です。今回、第1回の写真展を開催することになりました。テーマを限定せず、「私のお気に入り」を展示。私たちそれぞれのお気に入りの楽しんでいただけたらと思います。



風花の会 写真展 「それぞれの出会い」

2014年3月27日(木)～4月2日(水)

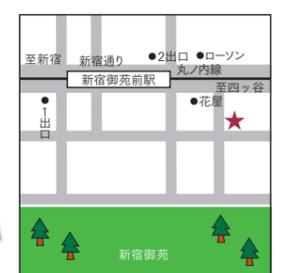
小松毅史先生主催の「風花の会」より、創作講座で指導を受けている女性7人の作品展です。風景や花などをテーマに、ひとり5点の作品を展示しております。それぞれの個性があふれた写真がそろいました。その雰囲気を 즐기みてください。



フォトギャラリーキタムラ 東京・新宿の 今後の予定

- 3月13日(木)～3月19日(水) 第1回 フォトクラブ瞬彩写真展「瞬光明彩」
- 3月20日(木)～3月26日(水) 柿の種写真展「私のお気に入り」
- 3月27日(木)～4月2日(水) 風花の会 写真展「それぞれの出会い」
- 4月3日(木)～4月9日(水) 第25回 UPC写真展
- 4月10日(木)～4月16日(水) 第6回 NK-5写真同好会作品展
- 4月17日(木)～4月23日(水) 365日フォトコンテスト2013春夏
- 4月24日(木)～5月7日(水) 読売新聞写真部企画展
- 5月8日(木)～5月14日(水) 第8回 CAMARADE写真展
- 5月15日(木)～5月21日(水) 第19回 幸友フォトクラブ写真展
- 5月22日(木)～5月28日(水) 第5回 EP会写真展
- 5月29日(木)～6月4日(水) 星 欣男 写真展
- 6月5日(木)～6月11日(水) 第28回 4字成句写真展 古希同人

フォトギャラリーキタムラ 東京・新宿
東京都新宿区新宿1-2-6 御苑花忠ビル1F
☎03-3341-7577 <http://kitamura.jp/photogallery/>
10:00-18:00 (土曜日11:00-17:00)
※写真展最終日は15:00まで 定休日/日・祝祭日



フォトブックサービス中
フォトギャラリーキタムラ 東京・新宿では、ギャラリーをご利用のグループに、展示した写真や記念写真をまとめたフォトブックを一冊プレゼントしています。

フォトギャラリーキタムラ 大阪・豊中
大阪府豊中市西緑丘3-10-7
カメラのキタムラ豊中・豊中店2F
☎06-6855-6645
10:00-20:00
※写真展最終日は15:00まで 定休日/年中無休(年末年始は除く)



Thanks for Coming 見る人の心を動かす

写真展開催に いくら必要なの？

いざ写真展を開こうと思ったとき、心配なのが「いくらかかるか」です。ここではフォトギャラリーキタムラ東京で10人で写真展を開いた場合の予算をご紹介します。写真仲間と一緒にグループ展を開いて日頃の成果を発表しませんか。

- ①出展料**
120,000円
※1週間(6日間)開催の場合
- ②額装代**
四つ切り～全紙 1枚 3,000円
※額レンタル料+裏打+飾り付けをした場合
- ③プリント料金**
4PW以下 1枚 4,000円～
半切 1枚 6,000円～
全紙 1枚 9,000円～
※光沢プリントの場合
- ④その他**
キャプション 1枚 500円
あいさつ文 1枚 2,000円
※カメラのキタムラに注文した場合

計：405,000円

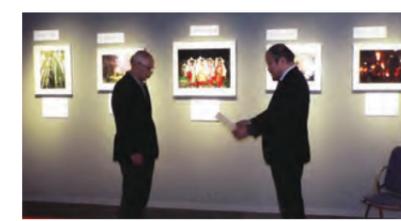
※6日間開催、半切写真30枚、キャプション付きの場合

「楽しみながら写真を撮る」がモットー



第2回 東京デジタルフォトクラブ写真展
2013年11月21日(木)～11月27日(水)
私たちは「楽しみながら写真を撮る」をモットーに、2011年12月に活動をスタートしました。60～90歳の仲間が集い、月に3回の関東散策、年に1～2回は全国を回って撮影しています。

テーマは「伝えていきたい日本の心」



スロー写真大賞写真展
2013年12月19日(木)～12月27日(金)
スロー写真大賞とは、スローネットが主催するシニアを対象とした写真コンテストです。今回のテーマは「伝えていきたい日本の心」。文化、風俗、伝統、自然、暮らしなどを、シニア独自の視点で撮影した作品が展示されました。

すてきな写真を楽しく撮る



第20回 フォト燦写真展
2013年11月14(木)～11月20日(水)
私たちは「カメラのドイ」カルチャー教室修了者によって結成された集団です。すてきな写真を楽しく撮ることを目標に、撮影会や研究会を実施してきました。おかげさまで、今年も20回目の写真展を開催できました。

心を足しあって支えあう



第12回 くらぼーんCLUB写真展
2013年12月12日(木)～12月18日(水)
テーマは「こころたす」。ひとりひとりの心を足しあって、みんなで支えあえるような社会にしたいという思いからきました。写真展で販売した本と募金の収益で、東日本震災によって両親を亡くした子どもたちの支援をしました。

「原種らん」の記録を残す



田村正次写真展「原種らん『カトレヤ』…女王の誘惑…2013」
2013年11月7日(木)～11月13日(水)
人類が誕生する遠く以前に誕生し、独自の進化を遂げている花「ラン」。近年は環境変化により、その数が減少しています。だからこそ記録に残していきたいと思い、選りすぐりの35作品を展示しました。

風景からスナップまで全30点



第15回 キヤノンフォトクラブ東京第6写真展
2013年12月5日(木)～12月11日(水)
日頃の撮影会、自主撮影で撮りためた作品の中から、会員が各1点を選んで出展しました。風景からスナップまで幅広く撮影し、全30点の多様な作品がそろいました。

人の動きや感情を表現



第14回 レディース写真展
2013年10月31日(木)～11月6日(水)
レディース写真展も第14回目を迎えました。今回のテーマは「動」です。それぞれがイメージする「動」は少しずつ違いますが、人の動きや感情を写真で表現して、見る人の心を動かす写真展が開催できました。

楽しく花を撮り続ける



第13回 はなの会
2013年11月28日(水)～12月4日(水)
徐々にメンバーも減少しつつある中、新しい仲間も加わり、楽しく花を撮り続けています。自分たちの作品を持ち寄り、児島昭雄先生にアドバイスをいただき、その成果を展示しました。

写真の「トリコ」になります 今をもっと楽しく 飽きのこない毎日に

「フォトカルチャー倶楽部（PCC）」では「みんなで新しい写真体験を！」をキャッチフレーズに掲げ、会員の皆さまのご支援で、さまざまな社会貢献・文化貢献・環境保護貢献をしています。会員の種類は、会員特典のすべてを受けられる「プレミアム会員」と、入会しやすくお得な通常の「会員」があり、ご自身のスタ

イルに合わせてお選びいただけます。今をもっと楽しめるフォトカルチャー倶楽部で飽きのこない毎日を。写真好きなら誰でも入会資格ありです。詳しくはP47をご覧ください。

写真で、
人の絆を深めて、
すべての生き物と
共生しよう



会員の皆さまからいただいた会費はPCCの活動を通して、上記のような目的で大切に使われています

つながる、ひろがる
社会が、笑顔が

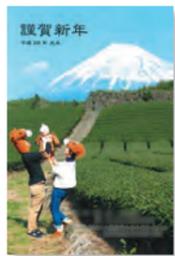
1 「G」ラブリ「サミット」後援で
フォトコンテストを活性化
全国のフォトコンテストのグランプリ作品を堂に展示。また第一回目の開催では、展示作品を収録したフォトコンテスト必勝の極意」を発売。作品を見てもらえる場を提供しました

2 「写真年賞状コンテスト」
で日本の伝統文化を継承
なかりつある年始の「挨拶年賀状」日本のよき習慣を楽しんでつづけてほしいという思いで写真年賀状コンテストをはじめました。応募作品1枚につき10円を東日本大震災被災地に義援金として寄付しています

3 「フォトブック甲子園」
開催で思い出を形に
残したい、見せたい、写真は一生の宝物。PCCでは「フォトブック」という新しい思い出写真の残し方を提案しています

4 「富士山を撮る」ココがベスト
スポット276」出版
PCCが写真の力で応援してきた富士山の世界遺産登録が実現。活動の一環である富士山フォトコンテストの応募作品を集めて写真集を発売しました

5 各地で開催するフォト
コンテストや写真展に協力
「365日フォトコンテスト」「日本の祭り写真コンテスト」の主催、「秋山庄太郎」花写真コンテスト」を後援、読売新聞社主催「よみうり風景写真コンテスト」、プリント社主催「環境フォトコンテスト」などを応援



仲間に、楽しさに
出会える

会員サークルをつくる、参加する
会員が5人集まればサークルを立ち上げられます。また既存のサークルに参加することもできます。同じ趣味を持つ仲間と写真の楽しさを分かちあえます



カメラを、写真を
学べる

1 著名写真家によるプライベート講評
(3枚セット7千円)
丹地敏明先生、沼田早苗先生、福田健太郎先生、秦達夫先生、田邊和宜先生、山本学先生などの写真家がわかりやすく講評します
*応募用紙はHPからダウンロード、又はお電話でご請求ください

2 写真教室・撮影会をご紹介
写真の腕前がみるみる上達します(↓P33~35)
楽しくも真剣な写真教室の様子



会員特典

PCC会員は年会費 **1500円**

特典
1

情報誌
『フォトライフ四季』
プレゼント

作品発表の場、交流の場、情報満載の『フォトライフ四季』を年4回ご自宅にお届けします



特典
2

プリント商品・
フィルムの10%割引

PCC会員証のご提示でカメラのキタムラなど協力店でのプリント商品が店頭価格より10%割引になります



特典
3

賛助会員の特典利用
ごども写真館「スタジオマリオ」
のお写真代10%OFF

(店頭でお支払いされる場合のみ適用。他の割引との併用は不可)



特典
4

撮影情報誌
『フォトコンライフ』
プレゼント

双葉社刊 本体1340円十税の季刊誌を年間4冊ご自宅にお届けします

PCCプレミアム会員は
年会費 **4000円**



プレミアム会員になると特典1~3に加えて特典4も!!
4冊5,600円が
4,000円で手に入って断然お得



※入会時期により、お届けする号が変わります

フォトカルチャー倶楽部へのご入会・お問い合わせ先

特定非営利活動法人
フォトカルチャー倶楽部 事務局

〒160-0004
東京都新宿区四谷4-28-20-205

☎03-3356-3552

受付時間 10:00~18:00(土日祝は除く)

http://npopcc.jp

blog http://blog.canpan.info/npopcc/

フォトカルチャー倶楽部 検索

お申し込みは

カメラのキタムラ店頭で
*手数料不要

口座自動振替払いで
*必要書類をご請求ください
*手数料不要
*毎年の更新手続き不要

クレジットカード払いで
*ウェブでお手続きが可能です
または
*必要書類をご請求ください
*手数料不要

コンビニ振込で
*ウェブでお手続きが可能です
または
*必要書類をご請求ください
*手数料不要

郵便局振込で
*必要書類をご請求ください
または
*必要書類をご請求ください

郵送でお届けする案内状に会員証がついています。はがしてお使いください



Canon
make it possible with canon



軽やかにフルサイズ。

フルサイズは、想像力に限界なんてつくりません。写真への想いが強いほど撮影者のイメージに伝えてくれる。フルサイズとして世界最軽量[※]を実現したEOS 6D。自社開発による高感度フルサイズは、常用ISO感度25600と高画質の両立を実現。さらに無線LAN機能(Wi-Fi対応)&GPS機能を内蔵した。そして、EOS 6Dの機動力を存分に発揮させる、軽量・小型キットレンズEF24-70mm F4L IS USMとのコンビネーションで、撮影フィールドは大きく広がるはずだ。写真表現の新しい可能性が、あなたを待っている。さあ、軽やかにはじめよう。

世界最軽量[※]の世代フルサイズ。

◎世界最軽量[※]の約680g(本体のみ)を達成 ◎35mmフルサイズ約2020万画素・新開発CMOSセンサー ◎EOS初の無線LAN機能(Wi-Fi対応)&GPS機能を内蔵 ◎常用ISO感度100~25600(拡張ISO感度HI:51200 H2:102400) ◎高速画像処理プロセッサ、映像エンジンDIGIC 5+ ◎低輝度検出能力、限界-3EVを実現した新開発11点AF [スマートフォン専用アプリEOS Remoteで、無線でのライブビュー撮影や画像閲覧、転送が可能]

◎EOS 6D(WG)・ボディ ◎EOS 6D(WG)・EF24-70L IS USM レンズキット ◎EOS 6D(WG)・EF24-105L IS USM レンズキット

(WG)=無線LAN機能、GPS機能内蔵モデル

※35mmフルサイズ相当の撮像素子を搭載したレンズ交換式デジタル一眼レフカメラのボディにおいて、2012年9月13日現在。

NEW EOS 6D
canon.jp/6d

EF80 million
EFレンズは2012年8月、累計生産本数8,000万本を達成しました。



キヤノンお客様相談センター/デジタルカメラ
050-555-90002

【受付時間】平日 9:00~20:00 土・日・祝日 10:00~17:00 (1/1~3は休ませていただきます。) ※海外からご利用の方、または050からはじまるIP電話番号をご利用いただけない方は043-211-9556をご利用ください。 ※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

運、縁、恩 PCC多事多忙録



10月29日 環境フォト・コンテスト表彰式。左からプレジデント社金久保徹環境フォト・コンテスト事務局長、PCC若林、写真家中谷吉隆さん、鈴木勝彦PRESIDENT編集長。「自然」との縁を感じる作品の数々でした



10月31日 よみうり風景写真コンテスト審査会場。左からPCC理事長・松尾、PCC顧問田沼武能さん、写真家三好和義さん、読売新聞東京本社編集局写真部長梅崎隆明さん。先生と応募者をつなぐ場です



12月5日 総合写真展表彰式。左からPCC板見、写真家テラウチマサトさん、丸林正則さん、徳光ゆかりさん、川合麻紀さん。いつもお世話になっている先生方と写真の話で盛り上がりしました



12月6日 天才工場代表の吉田浩作家生活30周年記念パーティー。左からPCC松尾、ドクター中松さん。中松さんとの出会いも偶然から生まれた「縁」です。来賓同士で盛り上がりしました



12月8日 クラブツーリズムのフォトフェスタ写真展。左からPCC野田、PCC賞を受賞された岡島恵子さん、PCC松尾。写真を通じてとんとん人がつながります



12月11日 公園財団の皆さまと打合せ。左手前から反時計回りに、PCC松尾、PCC顧問丹地敏明さん、PCC野田、公園財団企画部奥村典康さん、川原 淳さん。いろいろなたのめぐり合わせでたくさんの企画が生まれます



12月11日 日経ナショナル ジオグラフィック社社長伊藤達生さんと、共催で行う写真講座の打ち合わせ(→P30)。左はPCC野田



12月25日 スロー写真大賞授賞式。スローネット主催シニア対象の第1回写真コンテストの授賞式。左からPCC板見、日本テレビネット会長瀧 栄治郎さん。審査の基準は、今までの人生経験と独自の視点でした

TV取材
されました

またやってほしいという声も

アマ meets プロ in 福岡

昨年11月16日に福岡で開催したアマmeetsプロ。丹地敏明氏と徳光ゆかり氏を講師として迎え、22名の写真愛好家たちが撮影会と講評会で写真について語り合いました。初めて参加する人も多く、「なかなかプロ写真家と話をする機会がないので貴重な経験だった」「またやってほしい」との声も。開催当日は、撮影会の様子を福岡放送が取材しに来るなど、終始にぎやかな1日になりました。



日常写飯

これをやりたい、あれをしたい

40歳の坂道、50歳の壁、60歳の崖を経て、人生の放課後を楽しもうと思っていたところ、PCCの創立に携わって5年。おかげさまで日本一の写真クラブに成長しました(会員数だけかもしれませんが)。ことにおいて後悔しないのは大人の心得なのに、得てして反省もしない弱点を持つ私ですが、顧問の田沼先生はじめ皆さんに支えられてここまで来ました。つくづく皆さんの「運、縁、恩」を噛みしめています。「世の中は 今日より他はなかりけり。昨日は過ぎて 明日は知られず」の心境とともに、できるかできないかで動くのが猿、やるかやらないかで動くのが人間。猿は本能で動くが、人間は知性で動くのだ!と自分を叱咤激励して日々を過ごしております。変わらぬご支援をお願い申し上げます。 PCC理事長 松尾 喬

アメリカから 小池キヨミチさん 来日

PCCコロラド支部の写真家小池キヨミチさんがいらっしゃいました。いつもはアメリカなので、日本のおもてなしでお出迎え。節分の日だったので、恵方巻を召し上がっていただきました。今年の恵方は東北東。小池さんは一体なにを願いながら恵方巻を召し上がったのでしょうか。



皆さんの作品をお待ちしています

PCC会員と皆さんでつくる『フォトライフ四季』に、お気に入りの写真を応募してください。

応募方法

プリントの場合:写真サイズ:はがきサイズ、2Lサイズ

写真の裏に必要事項[※]を貼付、ご郵送ください。

データの場合:写真サイズ:2MB前後(350dpiで10cm×15cm程度)

メールのタイトルに「フォトライフ四季掲載希望」、本文に必要事項[※]を記入、送信してください。

※必要事項

①氏名(フリガナ)②〒住所③電話番号④希望のコーナー(表紙、P1、P6、P7、P22)⑤タイトル⑥撮影地⑦ひとことコメント(撮影の工夫やエピソードなど)

89号(6月発行)掲載分は、3月20日(木)まで(テーマ:夏)

90号(9月発行)掲載分は、6月20日(金)まで(テーマ:秋)

送先

NPO法人 フォトカルチャー倶楽部

「フォトライフ四季掲載希望」係

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-28-20-205

☎03-3356-3552 Eメール satsuei@nppccc.jp

※掲載可否は紙面での発表となりますのでご了承ください。また、PCCブログに掲載させていただく場合があります。

【募集のおさらい】

表紙、P1、P6、P7 P1
被写体大辞典 P22

【ここにも募集があります】

ロープロプレゼント P15
なかま展 P32
365日フォトコンテスト P32

募集要項は各ページをご覧ください



FUJIFILMの色、写真、カメラ。

X-T1

- 世界最大、ファインダー倍率0.77倍^{※1}。世界最短、表示タイムラグ0.005秒^{※2}。
- 進化した連写性能、動体予測AF&AF追従連写8.0コマ/秒^{※3}。

独自の位相差AFを可能にした、「X-Trans CMOS II」センサー+高速処理エンジン「EXR Processor II」が、AF

X-TRANS CMOS II	EXR PROCESSOR II	AF世界最速 0.08秒 ^{※1}	起動時間 ^{※5} 0.5秒	撮影間隔 ^{※6} 0.5秒	シャッター タイムラグ 0.05秒
---------------------------	----------------------------	-------------------------------	----------------------------	----------------------------	-------------------------

世界最速の0.08秒^{※4}をはじめ、あらゆる操作を高速化。 ※1 デジタルカメラで最大、約0.77倍(35mm判換算50mmレンズ、無限遠、視度-1.0m⁻¹のとき)。2014年1月時点。当社調べ。 ※2 2014年1月時点。当社調べ。 ※3 AF-C設定時。 ※4 APS-C型以上のセンサーを搭載したデジタルカメラにおいて、CIPAガイドライン準拠、内部測定方法、ハイパフォーマンスモードON時。XF14mmF2.8 R装着時。2014年1月時点。当社調べ。 ※5 ハイパフォーマンスモードON時。XF27mmF2.8装着時。 ※6 MFモード時。

XF Lens キャッシュバックキャンペーン実施中!

期間: 2014年2月13日(木)~3月31日(月)

期間中にキャンペーン対象のレンズを単体でご購入いただいた方に最大10,000円のキャッシュバックをします。 締切: 2014年4月11日(金)